

予算科目	08土木費	06港湾費	01港湾総務費	50港湾総務一般経費
細事業名	01 港湾総務一般経費			決算書 P.288
総合計画	計画項目	5 次世代への美しい自然環境の継承		
	(旧計画項目)	6 美しい自然環境の次世代への継承		
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額
1,337千円	1,392千円	55千円	96.0%	1,516千円
目的	久美浜港湾の漂着ゴミ等の清掃業務を行い、港湾環境及び景観を保全する。			
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○久美浜港湾清掃業務委託料 港湾隣接地区へ委託 (葛野、長柄、浦明、神崎、西本町、十楽、湊宮地区) 1,130千円 ○十楽埋立地管理委託費(草刈作業) 57千円 ○全国海岸協会負担金 30千円 ○京都府海岸協会負担金 70千円 ○日本港湾協会負担金 50千円 			
主な財源	府補	海岸漂着物地域対策推進事業補助金	1,129千円	
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○京都府から受託した久美浜港湾内の清掃業務について、港湾に隣接している自治会へ再委託し、港湾の環境保全を図ることができた。 ○豪雨時等に河川から港湾に流れ込む大量の漂着ゴミの堆積に緊急対応が出来るよう京都府に要請する必要がある。 			
事業所管課	建設部/管理課			

予算科目	09消防費	01消防費	01常備消防費	02消防本部総務業務
細事業名	01 消防本部総務業務			決算書 P.290
総合計画	計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実		
	(旧計画項目)	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実		
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額
9,608千円	9,741千円	133千円	98.6%	10,087千円
目的	消防業務の企画、調整、施設の管理及び職員の被服等貸与並びに安全衛生管理等を行い、円滑な業務遂行を図る。			
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 消防長会、府立消防学校、消防・防災関連会議等への出席、制服等職員貸与品の購入、事務用品、コピー代、電話代等の支払い事務を行った。 消防活動に万全の体制で対応するため、職員の健康管理・増進事業について積極的に取り組んだ。 ※消防吏員95人(平成29年3月末現在) ○旅費 622千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消防長会、消防学校、京都府主催会議等 ○消耗品費 5,527千円 <ul style="list-style-type: none"> ・現任職員貸与被服等購入費(制服、活動服、救助服等) 1,799千円 ・平成29年度新規採用職員貸与被服等購入費(制服等) 1,700千円 ・仮眠寝具等購入費 453千円 ・法令関係図書、事務用品、コピー代等 1,575千円 ○通信運搬費 1,541千円 <ul style="list-style-type: none"> ・電話料金、郵便料金、久美浜有線放送料金等 ○肝炎ウイルス検診委託料等(平成28年度新規採用職員6人) 154千円 ○職員健康診断委託料 750千円 <ul style="list-style-type: none"> ・潜水業務健康診断(11人) ・B型・C型肝炎抗体検査(71人) ・労働安全衛生法に基づく消防職員第2回目健康診断(交代制勤務者73人) ○コピー機借上料、印刷機借上料、テレビ受信料等 484千円 ○全国消防長会等負担金等 401千円 ○その他事務経費等 129千円 			
主な財源	諸収入	緊急消防援助隊活動経費負担金・消防広域応援交付金	2千円	
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○職員の健康・安全管理を適切に行うことで、24時間体制の常備消防活動を維持・運用することができた。 ○事務用品、消耗品等の発注を本部総務課で一括して行うなど経費の削減に努めることができた。 			
事業所管課	消防本部/総務課			

予算科目	09消防費	01消防費	01常備消防費	03消防訓練・研修業務	
細事業名	01 救急救命士養成業務			決算書	P.292
総合計画	計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			
	(旧計画項目)	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
3,183千円	3,281千円	98千円	97.0%	3,281千円	
目的	医師の指示の下、救急車内等で救命処置ができる救急救命士の計画的な養成に加え、気管挿管が可能な救急救命士の養成を行い、市民の安心安全な生活に寄与する。				
主要な事務・事業の概要	<p>平成5年から毎年1人ずつ救急救命士を新規養成しており、平成28年度も1人養成派遣するとともに、気管挿管の行える救急救命士の認定に必要となる病院実習に1人派遣した。</p> <p>平成29年3月末現在の救急救命士数は、運用（救急車乗車）救命士19人、気管挿管認定救命士13人、処置拡大認定（心肺停止前静脈路確保、血糖測定、ブドウ糖投与）救命士20人である。 （平成28年救急件数：2,519件、搬送人員：2,370人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○旅費 252千円 <ul style="list-style-type: none"> ・救急救命士養成派遣旅費（救急救命東京研修所：1人） ○職員研修委託料 560千円 <ul style="list-style-type: none"> ・現任救命士病院研修委託料（18人） 360千円 ・救急救命士資格取得後就業前病院研修（2人） 200千円 ○救急救命士養成負担金等 2,371千円 <ul style="list-style-type: none"> ・救急救命士新規養成研修費（救急救命東京研修所：1人） 2,071千円 ・気管挿管病院実習（丹後中央病院：1人） 300千円 				
主な財源					
成果・課題	<p>○救急救命士による救命処置により、市民の安心安全な生活に寄与できた。</p> <p>○市民の生命を守るための救急救命士の継続養成は不可欠であり、今後も計画的に養成を行っていく必要がある。また、気管挿管など、より高度な救命処置を行うことのできる救急救命士の養成も必要である。</p> <p>○救急業務全般の質の向上のため、実践的な教育指導体制の充実及び「イカサマ」協議会との連携体制の強化・円滑化を担う指導的立場の救命士の計画的な養成を行う必要がある。</p>				
事業所管課	消防本部／総務課				

予算科目	09消防費	01消防費	01常備消防費	03消防訓練・研修業務	
細事業名	02 消防学校等研修派遣業務			決算書	P.292
総合計画	計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			
	(旧計画項目)	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
4,952千円	4,994千円	42千円	99.1%	5,328千円	
目的	各種災害・救急・救助訓練などの研修会等に参加し、最新の知識や技術を習得するとともに、消防活動に必要な各種資格を取得し、複雑多様化する消防業務に対応する。				
主要な事務・事業の概要	<p>消防大学校、京都府立消防学校及び京都府消防長会等が主催する各種研修課程並びに各種研修会に、計画的かつ積極的に参加し、消防職員として複雑多様化する災害への対応に必要とされる知識・技能の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○旅費 1,710千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消防大学校及び府立消防学校の入校、各種専科教育課程・研修会等 ○消防学校専科等研修負担金 2,525千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消防大学校：救助科（1人） ・府立消防学校：初任科教育（6人・4月～11月）、火災調査科（1人）、予防査察科（1人）、危険物科（1人）、消防団指導科（2人）、初級幹部科（1人）、特殊災害科（1人）、救急科（5人）、警防科（1人） ○各種講習会受講負担金 418千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ロープレスキュー講習（2人）、2級陸上特殊無線技士養成講習（1人） ・潜水士検定（1人）、玉掛け技能講習（1人） ・小型移動式クレーン運転技能講習（1人）、潜水技術研修（1人） ・2級小型船舶操縦士免許講習（1人）、予防技術者検定（2人） ・酸素欠乏硫化水素危険作業主任者（1人） ○大型自動車免許取得補助金（1人） 80千円 ○その他の研修経費（バス運転委託料、有料道路通行料等） 219千円 				
主な財源					
成果・課題	<p>○各種の状況を想定した災害・救助救急訓練、研修等に参加し、最新の専門的な技能・高度な知識を学ぶことで、複雑化する災害に対応する準備ができた。</p> <p>○各種専科教育等を受講し、持ち帰った技術、知識については、研修会等を通して職員へフィードバックを行うことができた。</p> <p>○災害の態様も年々変化しており、それらの災害に対応する知識・技能を習得し、消防業務に対応していく必要がある。</p>				
事業所管課	消防本部／総務課				

予算科目	09消防費	01消防費	01常備消防費	04予防・警防等業務		
細事業名	01 予防・警防等業務			決算書	P.292	
総合計画	計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実				
	(旧計画項目)	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実				
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額		
7,180千円	7,474千円	294千円	96.0%	8,130千円		
目的	事業所への防火管理指導や高齢者宅等への防火訪問、防火チラシの配布を行い火災予防を図る。消防活動を支える資機材の整備、更新により活動時の安全を図る。					
主要な事務・事業の概要	防火啓発ポスターの募集、年末防火チラシの作成配布、露店防火指導及び防火座談会等の防火啓発活動に加え、災害時要配慮者世帯への戸別別訪問を行い住宅用火災警報器設置を促進した。また、計画的に消火活動用資機材及び救助用資機材の点検、更新を行い、消防活動全般における、より安全・確実な活動に配慮した。					
	○報償費	59千円				
	・防火ポスター表彰記念品等(439人)小学4年生対象					
	○消耗品費	2,677千円				
	・防火管理者資格取得講習会テキスト等					
	・各種防火啓発広報物品、救助活動用資機材(ロープ等)					
	・感染防護資機材等					
	○印刷製本費	332千円				
	・秋季、春季火災予防運動啓発チラシ計42,000枚、年末チラシ5,300枚					
	・火災予防運動防火ポスター(小学4年生の特選図画)900枚					
・住宅用火災警報器設置促進啓発チラシ10,000枚						
○修繕料	961千円					
・各種救助資機材、水難救助用資機材、消防活動資機材等						
○手数料	267千円					
・船舶検査、高圧ガス容器再検査等						
○原材料費	80千円					
・火災予防運動用工作物材料等						
○備品購入費	2,462千円					
・消火活動用資機材等(消防用ホース、空気呼吸器、携帯警報器等)						
・水難救助用資機材等(ウェットスーツ、BCジャケット等)						
○その他経費(検査委託料等)	342千円					
主な財源	手数料	消防手数料	1,014千円			
	諸収入	防火管理者資格取得講習料	256千円			
	諸収入	緊急消防援助隊活動経費負担金・消防広域応援交付金	11千円			
成果・課題	○各事業所等への積極的な立入検査を継続的に実施し、防火管理の推進・消防用設備の維持管理等について適切に指導を行った。					
	○火災件数は、前年から1件増加した。引き続き、火災予防啓発に積極的に取り組む。(火災発生件数：平成28年：17件、平成27年：16件、平成26年：20件)					
	○救助工作車の更新に伴い、救助用資機材の多くは更新されたが、その他の資機材は老朽化しているものも多く、適切な維持管理に加え、計画的な更新整備の必要がある。					
事業所管課	消防本部/総務課					

予算科目	09消防費	01消防費	01常備消防費	05救急業務		
細事業名	01 救急活動業務			決算書	P.294	
総合計画	計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実				
	(旧計画項目)	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実				
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額		
6,567千円	6,864千円	297千円	95.6%	6,806千円		
目的	救急資機材の整備や適切な管理の実施と、救急活動の事後検証など関係機関との連携により、的確な救急活動を実施し、救命率向上に努める。					
主要な事務・事業の概要	安全かつ的確な救急業務に対応するため、救急資機材の充実と必要な保守管理に努めた。また、ガイドラインの変更に伴う応急手当普及啓発に関する要綱等の所要の改正、応急手当が適切に実施できる人の育成及び口頭指導体制の充実強化を実施した。					
	年次	出動救急件数		搬送人員		
	平成28年	2,519件(前年比101件)		2,370人(前年比74人)		
	平成27年	2,418件(前年比8件)		2,296人(前年比41人)		
	平成26年	2,410件(前年比△71件)		2,255人(前年比△128人)		
	○旅費	193千円				
	・緊急消防援助隊派遣(熊本地震)、救急管外搬送					
	○消耗品費	3,003千円				
	・滅菌ガーゼ、医療用酸素、酸素マスク等					
	・除細動器用バッテリー等					
○修繕料(高度救急処置シミュレータ(訓練人形)修理)	208千円					
○高圧ガス容器検査手数料(医療用酸素ボンベ)	36千円					
○産業廃棄物処理手数料(救急活動で使用したガーゼ等)	104千円					
○京都救命指示センター委託料	1,457千円					
・24時間体制で医師が1人常駐し、救急救命士の指示要請に対応						
○高度救急医療機材定期点検保守委託料	1,228千円					
・除細動器、患者監視装置等の医療器材を年2回点検整備						
○備品購入費(トリアージシート)	71千円					
○丹後メディカルコントロール協議会負担金	120千円					
(救命救急業務向上のため、北丹医師会、与謝医師会、救急指定4病院、丹後保健所及び丹後広域振興局等と連携し協議会を組織)						
○その他経費(消防業務賠償責任保険料等)	147千円					
主な財源	諸収入	緊急消防援助隊活動経費負担金・消防広域応援交付金			31千円	
成果・課題	○関係機関と連携し救急活動の事後検証を行い、適切な救急活動の実施と充実を図った。					
	○救マーク認定制度(施設関係者による応急手当が実施可能な事業所を認定)の普及に努めた。認定継続困難な事業所に対して、受講機会の拡大などの対策を考慮する必要がある。					
○平成28年度に実施した救命講習(上級、普通、一般講習)の総受講者数は約3,350人であった。今後も継続して応急手当の普及に努め、応急手当が適切に実施できる人を育成していくことが必要である。						
事業所管課	消防本部/総務課					

予算科目	09消防費	01消防費	01常備消防費	06通信指令業務	
細事業名	01 通信指令業務			決算書	P.294
総合計画	計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			
	(旧計画項目)	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
19,325千円	19,557千円	232千円	98.8%	20,302千円	
目的	24時間体制で火災、救急等の緊急要請を受信、処理する通信指令システムを適正に管理運用し、市民の安心・安全な生活に寄与する。				
主要な事業の概要	<p>24時間体制で市民から緊急通報を受け、コンピュータ制御による発信地表示装置と地図検索装置を活用し素早く災害発生地点を特定、必要な消防車両の出動指令を行うとともに、市防災行政無線システムによる災害広報対応を行った。 119番通信指令システムに不具合が生じないよう保守点検を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○報償費 41千円 <ul style="list-style-type: none"> ・防災用音声合成装置吹込み謝金(毎月1回) ○消耗品費 694千円 <ul style="list-style-type: none"> ・パソコン交換部品、雷サーシ保安器等 ○修繕料 216千円 <ul style="list-style-type: none"> ・車両動態位置情報管理システム端末装置移設 ○通信運搬費(NTT専用回線料) 6,835千円 <ul style="list-style-type: none"> ・指令回線(署所音声指令用、指令地図電送用)、119番転送回線 ○委託料 11,393千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消防緊急通信指令施設保守業務委託料 9,992千円 ・緊急通報用電話発信地表示システム委託料 548千円 ・聴覚言語障害者用緊急通報システム運用委託料 648千円 (聴覚言語障害者の方が携帯電話を使って「119番通報」できるシステム) ・自家用電気工作物保安管理委託料 145千円 ・京都府防災情報システム保守業務委託料 60千円 ○その他経費 146千円 <ul style="list-style-type: none"> ・京都府防災行政無線西山中継局舎電気料金負担金 				
	主な財源	諸収入	西山中継局電源設備利用負担金	23千円	
成果・課題	<p>○通信機器等のメンテナンスを適切に実施し、市民等からの緊急通報に際してシステムに支障を来すことなく対応を行うことができた。 ○連続運用を行う構成機材等の経年劣化による修繕、部品交換等は避けられないことから、運用に支障を生じるような重大事故を未然に防ぐためにも、計画的に機材の整備、交換を適切に行い、通信指令システムを引き続き適正に管理することが必要である。</p>				
事業所管課	消防本部/総務課				

予算科目	09消防費	01消防費	01常備消防費	07庁舎等維持管理事業	
細事業名	01 庁舎等維持管理事業			決算書	P.296
総合計画	計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			
	(旧計画項目)	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
18,675千円	19,751千円	1,076千円	94.5%	21,398千円	
目的	災害等に対応する活動拠点となる消防庁舎及び消防車両について、適切な維持管理と計画的な点検整備を行い、緊急出動等に適切に対応する。				
主要な事業の概要	<p>消防庁舎は火災・救急・救助活動に備える拠点施設であり、職員が適切に活動できる職場環境の整備に努めた。 また、各消防車両は災害の最前線で運用する車両であり、いつ災害が発生しても万全の状態出勤し、市民の安心安全な生活及び職員の安全確実な活動を支えるため、整備・点検を徹底した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○消耗品費(トイレトーパー、蛍光管、洗剤等) 448千円 ○燃料費 4,729千円 <ul style="list-style-type: none"> ・車両関係燃料(ガソリン、軽油代) 3,299千円 ・施設関係燃料(ガス、灯油代) 1,430千円 ○光熱水費(消防本部ほか3署所の電気料金、上下水道料金) 6,801千円 ○修繕料 4,076千円 <ul style="list-style-type: none"> ・施設関係修繕(エアコン、照明器具等) 1,614千円 ・車両関係点検・整備(19台)、車検8台、定期点検(3か月(大型のみ)、6・12か月)修理等 2,462千円 ○公用車車検経費(8台分、自動車登録手数料、自動車重量税) 416千円 ○自動車損害保険料 742千円 ○保守点検委託料(通信指令室等空調設備、消防用設備等保安管理、キュービクル設備保安管理等) 391千円 ○庁舎床面清掃費(4署所分) 222千円 ○清掃用具借上料(モップ・マット等4署所分) 164千円 ○工事請負費(空調設備更新) 518千円 ○備品購入費(庁舎用消火器、掃除機) 154千円 ○その他経費 14千円 				
	主な財源	使用料	公有財産使用料	609千円	
	諸収入	緊急消防援助隊活動経費負担金・消防広域応援交付金	33千円		
	諸収入	市有自動車損害共済金	170千円		
成果・課題	<p>○24時間、職員が適切に活動できるよう、消防庁舎の環境整備を実施することができた。 ○消防車両は経年劣化の目立つ車両も含め、定期的かつ計画的にメンテナンスを実施することで、火災・救急・救助等の災害発生に際し、迅速な出動、的確な活動を行うことができた。 ○消防庁舎は消防活動の拠点であることから、今後も常時適切な状態に維持管理する必要がある。</p>				
事業所管課	消防本部/総務課				

予 算 科 目	09消防費	01消防費	02非常備消防費	01団員報酬・公務災害補償費等		
細 事 業 名	01 団員報酬			決算書	P.296	
総合計画	計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実				
	(旧計画項目)	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実				
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額		
39,363千円	39,363千円	0千円	100.0%	41,585千円		

目的	消防団条例に基づき、団員に階級ごとの報酬を支給する。							
主要な事務・事業の概要	○団員報酬		39,363千円					
	年額(2回に分けて支給)							
	団長	189千円	部長	43千円				
	副団長	123千円	班長	33千円				
分団長	96千円	団員	19千円					
副分団長	57千円	支援団員	5千円					
	(参考) 消防団員数内訳		(単位:人)					
	年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
	本部(※)	14	12	10	10	5	6	11
	峰山町	361	359	346	346	343	339	317
	大宮町	284	281	280	280	282	277	277
	網野町	411	411	387	382	375	370	367
	丹後町	234	236	226	222	223	219	218
	弥栄町	211	209	198	195	192	189	195
	久美浜町	241	242	242	242	240	240	258
	合 計	1,756	1,750	1,689	1,677	1,660	1,640	1,643
	条例定数	1,805	1,805	1,805	1,805	1,805	1,805	1,730
	不足数	△ 49	△ 55	△ 116	△ 128	△ 145	△ 165	△ 87
	(各年4月1日現在)							
	※平成27年度まで「本部」は、団長(1人)及び女性消防団員 平成28年度から「本部」は、団長(1人)、副団長(3人)及び女性消防団員							
主な財源								
成果・課題	団員確保が年々難しくなっている状況が続いているため、支援消防団員の活用も含め、団員確保を行う必要がある。							
事業所管課	消防本部/総務課							

予 算 科 目	09消防費	01消防費	02非常備消防費	01団員報酬・公務災害補償費等		
細 事 業 名	02 公務災害補償費等			決算書	P.296	
総合計画	計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実				
	(旧計画項目)	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実				
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額		
4,006千円	4,022千円	16千円	99.6%	4,796千円		

目的	消防団員等が公務上の災害を受けた場合に損害賠償や災害補償を行う。					
主要な事務・事業の概要	公務災害補償制度(消防団員等公務災害補償等共済基金)や住民参加の防災訓練における災害補償制度(日本消防協会)を活用し、消防団員等が火災や訓練等で災害を受けた場合の損害賠償や災害補償の掛金を支出した。					
	○災害補償費		325千円			
	・公務災害補償費		消防団員12人分(操法訓練時10人、研修時1人、火災時1人)			
	○負担金、補助及び交付金		3,681千円			
・消防団員等公務災害補償掛金		3,622千円				
団員		1,805人 × 1,900円 (条例定数(平成27年10月1日現在))				
消防・水防作業		55,096人 × 3.5円 (平成27年国勢調査速報値人口)				
・災害補償費掛金		59千円				
		59,038人 × 1円 ※千円未満切捨て (平成22年国勢調査人口)				
主な財源	諸収入	消防団員公務災害補償金				297千円
成果・課題	消防団員等の公務災害及び防災訓練等に参加した住民の不慮の事故に対応するための災害補償掛金を支出するとともに、訓練等の活動に参加した団員の不慮の事故に対応することができた。					
事業所管課	消防本部/総務課					

予算科目	09消防費	01消防費	02非常備消防費	02団員退職報償金	
細事業名	01 団員退職報償金			決算書	P.296
総合計画	計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			
	(旧計画項目)	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
106,371千円	106,421千円	50千円	99.9%	34,656千円	
目的	5年以上在職して退職した消防団員に対し、その団員の在職年数や階級に応じて支給する。また、その支給のための掛金を基金に支払う。				
主要な事務・事業の概要	消防団員の多年の労苦に報いるため、非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例に基づき、その団員の在職年数や階級に応じて退職報償金を支給した。また、その支給のため、消防団員等公務災害補償等共済基金に掛金を支払った。				
	○報償費 ・退職報償金(175人分)	71,715千円			
○負担金、補助及び交付金 ・消防団員退職報償金掛金	1,805人 × 19,200円 (条例定数(平成27年10月1日現在))				
主な財源	諸収入	消防団員退職報償金	71,715千円		
成果・課題	条例に基づき、退職した消防団員に退職報償金を支給した。				
事業所管課	消防本部/総務課				

予算科目	09消防費	01消防費	02非常備消防費	03消防団活動運営事業	
細事業名	01 消防団活動運営事業			決算書	P.298
総合計画	計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			
	(旧計画項目)	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
119,422千円	120,982千円	1,560千円	98.7%	125,865千円	
目的	消防団員の資質向上や技能習得のために必要な訓練及び予防活動のほか、消防車両及び消防車庫の維持管理を行う。				
主要な事務・事業の概要	消防団の運営及び活動に対する経費で、分団・部等の運営費及び出勤手当のほか、消防車両及び消防車庫の維持管理経費、消防操法大会経費等を支出した。				
	○消防団運営活動謝金 (本部、分団、部、指導員、ラッパ鼓隊、女性消防隊)	55,299千円			
○消防団員定例表彰等に係る表彰状・徽章等	199千円				
○消防団操法大会経費 ・大会謝金	6,267千円				
・会場設営委託料等	6,056千円				
○消防団出勤手当・訓練手当、職員旅費等	211千円				
○消耗品費(活動服、ヘルメット、長靴、手袋等)	31,479千円				
○消防車両維持管理経費(燃料、修繕料、保険料等 87台分)	4,380千円				
○消防車庫維持管理経費(電気代、火災保険料等 119施設分)	13,043千円				
○ポンプ自動車点検(32台分)	2,215千円				
○消防学校入校、京都府消防操法大会参加バス借上料等	215千円				
○備品購入費(消防用ホース 70本、AED 9セット)	1,162千円				
○京都府消防協会京丹後市支部負担金	4,429千円				
○その他費用(消火栓ボックスの処分、消火器処分手数料等)	255千円				
○第7回京丹後市消防操法競技大会 実施日:平成28年6月12日(日) 場 所:弥栄小学校グラウンド	479千円				
○第24回京都府消防操法大会 実施日:平成28年7月31日(日) 場 所:京都府立丹波自然運動公園 補助競技場					
主な財源					
成果・課題	○消防団の運営に対する支援や施設設備を維持管理することができた。 ○また、消防団の日頃の訓練の成果として第24回京都府消防操法大会のポンプ車操法の部で、京丹後市消防団として初優勝することができ、第25回全国消防操法大会に出場することができた。				
事業所管課	消防本部/総務課				

予算科目	09消防費	01消防費	02非常備消防費	04消防設備維持管理事業		
細事業名	01 消防設備維持管理事業			決算書	P.300	
総合計画	計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実				
	(旧計画項目)	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額		
17,523千円	17,524千円	1千円	99.9%	17,529千円		
目的	消火活動に必要な消火栓の維持管理費用として、消火栓の設置数に応じて水道事業会計及び簡易水道事業特別会計へ繰り出す。					
主要な事務・事業の概要	○繰出金 17,523千円					
	<ul style="list-style-type: none"> 水道事業会計 5,400円 × 1,273基 6,874千円 簡易水道事業特別会計 5,400円 × 1,972基 10,649千円 					
【消火栓管理基数内訳】 (単位：基)						
	区分	水道会計管理基数	簡水会計管理基数			
	峰山町	451	7			
	大宮町	299	200			
	網野町	383	223			
	丹後町	140	239			
	弥栄町		354			
	久美浜町		949			
	合計	1,273	1,972			
主な財源						
成果・課題						
事業所管課	消防本部／総務課					

予算科目	09消防費	01消防費	02非常備消防費	05全国消防操法大会出場事業		
細事業名	01 全国消防操法大会出場事業			決算書	P.300	
総合計画	計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実				
	(旧計画項目)	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額		
8,140千円	8,237千円	97千円	98.8%	0千円		
目的	消防用機械器具の取扱い及び操作の基本について安全、確実な技術を競い合うことにより消防団員の消防技術の向上と士気の高揚を図り、消防活動の充実発展に寄与する。					
主要な事務・事業の概要	第25回全国消防操法大会出場に要する経費を支出した。					
	<ul style="list-style-type: none"> ○全国消防操法大会特別活動謝金 3,500千円 ○全国消防操法大会会場見学、激励会、大会旅費等 1,203千円 ○消耗品費（革手袋、脚絆、懸垂幕、横断幕、ポール等） 487千円 ○全国消防操法大会出場消防ポンプ車両運搬手数料 189千円 ○訓練会場グラウンド整備委託料 56千円 ○全国消防操法大会参加バス借上料等 2,108千円 ○備品購入費（吸水管1本、ホース12本） 564千円 ○その他費用（練習会場借上料及びポンプ圧力計調整費等） 33千円 					
主な財源						
成果・課題	第25回全国消防操法大会に京丹後市消防団として初出場を果たすことができた。全国大会では残念ながら10位までの入賞は果たせなかったものの、当日は積み重ねてきた訓練成果を披露することができた。					
事業所管課	消防本部／総務課					

予算科目	09消防費	01消防費	03消防施設費	01常備消防施設等整備事業
細事業名	01 常備消防施設等整備事業			決算書 P.300
総合計画	計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実		
	(旧計画項目)	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
115,195千円	163,358千円	48,163千円	70.5%	163,686千円
目的	夜間離発着にも対応可能な消防ヘリポートの整備並びに老朽化した各種車両の計画的な更新整備を行い、消防力の充実・強化と地域住民の安心・安全の確保を図る。			
主要な事業・事業の概要	救助工作車及び積載救助資機材等の更新整備を行った。また、24時間対応可能な場外離発着場（ヘリポート）の整備に向けた実施設計に続き、整備工事に着手した。			
	○役務費	33千円		
	・自動車登録手数料、リサイクル料	14千円		
	・自動車保険料	19千円		
○委託料	3,391千円			
	・設計監理委託料（電気設備工事）	1,512千円		
	・測量委託料（旧溝谷小グラウンド）	1,879千円		
○備品購入費	111,672千円			
	・救助工作車及び救助資機材（1台）			
○自動車重量税	99千円			
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額	115,457千円	
		実質的な予算執行率	99.8%	
	■平成29年度への繰越事業			
	・消防ヘリポート整備事業	平成29年6月完成	47,901千円	
主な財源	国補	防衛施設周辺対策事業補助金（7.5/10）	2,365千円	
	国補	緊急消防援助隊設備整備費補助金（基準額の1/2）	25,393千円	
	市債	消防防災施設整備事業債（合併特別債）	900千円	
	市債	消防自動車整備事業債（合併特別債）	81,900千円	
成果・課題	○経年劣化した救助工作車及び積載救助用資機材等を更新整備し、消防力の維持向上を図り、災害発生時における迅速、的確な対処に備えることができた。			
	○通年利用可能な消防ヘリポートの整備については、6月末に工事を完了した。			
事業所管課	消防本部／総務課			

予算科目	09消防費	01消防費	03消防施設費	02非常備消防施設等整備事業
細事業名	01 消防車両整備事業			決算書 P.300
総合計画	計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実		
	(旧計画項目)	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
33,946千円	34,122千円	176千円	99.4%	0千円
目的	年数が経過し老朽化した消防車両を更新し、火災をはじめ風水害などの災害発生時に迅速かつ的確に対処する。			
主要な事業・事業の概要	災害時などの救助活動に対応するため、CD-I型消防ポンプ自動車と小型動力ポンプ付積載車はチェーンソー、布担架及び救急セットなどの救助資機材を装備した多機能型消防車両への更新を行った。			
	○備品購入費	33,771千円		
	・CD-I型多機能消防ポンプ自動車 1台	19,365千円		
	峰山第1分団第2部（杉谷）			
	・多機能型小型動力ポンプ付積載車 1台	9,396千円		
	網野第4分団第4部（浜詰）			
	・小型動力ポンプ付軽積載車 1台	5,010千円		
	峰山第3分団第1部（鱒留）			
○役務費	117千円			
	・自動車登録手数料	57千円		
	・自動車リサイクル料	27千円		
	・自動車損害保険料	27千円		
	・自動車損害共済分担金	6千円		
○公課費	58千円			
	・自動車重量税			
主な財源	府補	地域防災力総合支援事業補助金（基準額の1/2）	4,698千円	
	市債	消防自動車整備事業債（緊急防災・減災事業債）	29,000千円	
成果・課題	平成29年3月31日現在、市が所有する消防車両87台の内、購入後20年以上が経過している車両は16台あり、今後も計画的に更新していく必要がある。			
事業所管課	消防本部／総務課			

予算科目	09消防費	01消防費	03消防施設費	03防火水槽整備事業		
細事業名	01 防火水槽整備事業			決算書	P.300	
総合計画	計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実				
	(旧計画項目)	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実				
決算額①	最終予算額②	不用額②-①	執行率	(参考)当初予算額		
9,135千円	9,135千円	0千円	100.0%	0千円		
目的	消防水利の基準により、充足率の低い地域から順次防火水槽を整備し、地域の防災力を高める。					
主要な事務・事業の概要	○防火水槽の新設 1基 (40t 耐震性鋼製品)			9,135千円		
	網野町三津区					
主な財源	市債 消防防災施設整備事業債 (緊急防災・減災事業債)				9,100千円	
成果・課題	防火水槽を設置することにより、地域の防災力を高めることができた。					
事業所管課	消防本部/総務課					

予算科目	09消防費	01消防費	03消防施設費	04消火栓設置事業				
細事業名	01 消火栓設置事業			決算書	P.302			
総合計画	計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実						
	(旧計画項目)	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実						
決算額①	最終予算額②	不用額②-①	執行率	(参考)当初予算額				
8,593千円	17,919千円	9,326千円	47.9%	16,580千円				
目的	初期消火に有効な消火栓の設置等について、地区要望及び周辺の水利状況等を考慮するとともに計画的に整備し、地域の防災力を高める。							
主要な事務・事業の概要	○需用費			214千円				
	消火栓修繕料 3か所 (丹後町間人、久美浜町新町、長柄)							
主要な事務・事業の概要	○工事請負費			8,379千円				
	【消火栓工事施工概要】 (単位:基)							
	区分	新設	改修	移設	合計			
		地下式	地上式	地下式	地上式			
	峰山					0		
	大宮		1			1		
	網野				1	1		
	丹後			7	1	8		
	弥栄					0		
	久美浜	1	2		1	4		
	合計	0	1	3	7	1	2	14
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額			8,679千円			
		実質的な執行率			99.0%			
	■平成29年度への繰越事業			9,240千円				
	・消火栓設置事業 平成29年9月完成予定							
主な財源	市債 消防防災施設整備事業債 (合併特例債)				1,700千円			
主な財源	市債 消防防災施設整備事業債 (過疎対策債)				6,500千円			
成果・課題	住宅街などの消防水利が不足している地域への消火栓の新設工事に加え、支障となる消火栓の移設工事及び水道管の布設替等の工事に併せ、老朽化した消火栓の改修工事を実施することにより、地域の防災力を高めることができた。							
事業所管課	消防本部/総務課							

予算科目	09消防費	01消防費	03消防施設費	04消火栓整備事業
細事業名	01 消火栓設置事業（繰越）			決算書 P.302
総合計画	計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実		
	(旧計画項目)	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
2,117千円	2,869千円	752千円	73.7%	2,869千円
目的	初期消火に有効な消火栓の設置等について、地区要望及び周辺の水利状況等を考慮するとともに計画的に整備し、地域の防災力を高める。			
主要な事務・事業の概要	<p>○工事請負費 2,117千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・網野町遊地区消火栓の移設（地上式 1基） ・府道井辺平線黒部地区配水管布設替工事に伴う消火栓の更新（地下式 1基） ・和田野地区配水管布設替工事に伴う消火栓の更新（地下式 5基） 			
主な財源	市債 消防防災施設整備事業債（合併特例債）			2,000千円
成果・課題	水道管の布設替工事に併せ、老朽化した消火栓の改修工事等を実施することにより、地域の防災力を高めることができた。			
事業所管課	消防本部／総務課			

予算科目	09消防費	01消防費	03消防施設費	04消火栓整備事業																		
細事業名	02 消火栓ボックス等整備事業			決算書 P.302																		
総合計画	計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実																				
	(旧計画項目)	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実																				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額																		
2,947千円	3,000千円	53千円	98.2%	3,000千円																		
目的	新設の消火栓箇所への消火栓備品の設置及び老朽化に伴う消火栓備品を更新し、地域の防災力を高める。																					
主要な事務・事業の概要	<p>消火栓は、初期消火に有効な設備で、迅速かつ効果的に使用するためには消火栓備品の配備が必要である。そのため、区からの要望等を踏まえ、新設の消火栓箇所への消火栓備品の設置及び老朽化に伴う消火栓備品の更新を行った。</p> <p>○備品購入費 2,947千円</p> <p>【消火栓備品】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>屋外型ホース格納箱（スチール製）</td> <td>105台</td> </tr> <tr> <td>屋外型ホース格納箱用架台（スチール製）</td> <td>90台</td> </tr> <tr> <td>消火栓用ホース</td> <td>139本</td> </tr> <tr> <td>消火栓用ホース（φ40mm）</td> <td>2本</td> </tr> <tr> <td>管そう（ノズルは噴霧タイプでない）</td> <td>47本</td> </tr> <tr> <td>消火栓開閉ハンドル（地上式用）</td> <td>10本</td> </tr> <tr> <td>消火栓開閉ハンドル（地下式用）</td> <td>8本</td> </tr> <tr> <td>単口式スタンドタイプ（地下式用）</td> <td>28本</td> </tr> </tbody> </table>				品名	数量	屋外型ホース格納箱（スチール製）	105台	屋外型ホース格納箱用架台（スチール製）	90台	消火栓用ホース	139本	消火栓用ホース（φ40mm）	2本	管そう（ノズルは噴霧タイプでない）	47本	消火栓開閉ハンドル（地上式用）	10本	消火栓開閉ハンドル（地下式用）	8本	単口式スタンドタイプ（地下式用）	28本
品名	数量																					
屋外型ホース格納箱（スチール製）	105台																					
屋外型ホース格納箱用架台（スチール製）	90台																					
消火栓用ホース	139本																					
消火栓用ホース（φ40mm）	2本																					
管そう（ノズルは噴霧タイプでない）	47本																					
消火栓開閉ハンドル（地上式用）	10本																					
消火栓開閉ハンドル（地下式用）	8本																					
単口式スタンドタイプ（地下式用）	28本																					
主な財源																						
成果・課題	消火栓の新設箇所や老朽化した消火栓ボックス等の資機材の整備を行い、地域の防災力を高めることができた。																					
事業所管課	消防本部／総務課																					

予算科目	09消防費	01消防費	03消防施設費	50消防施設一般経費		
細事業名	01 消防施設一般経費			決算書	P.302	
総合計画	計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実				
	(旧計画項目)	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額		
7,025千円	7,231千円	206千円	97.1%	3,893千円		
目的	消防活動を円滑に行うため、消防資機材や車庫、消防水利等の維持管理を行う。					
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○需用費 2,276千円 <ul style="list-style-type: none"> ・防火水槽蓋 36千円 ・小西川可動堰電気料 59千円 ・消防車庫修繕(16か所) 1,064千円 ・防火水槽修繕 1,117千円 ○使用料及び賃借料 200千円 <ul style="list-style-type: none"> ・簡易デジタル無線電波利用料 ○工事請負費 4,549千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消防車庫解体工事(峰山町小西、弥栄町芋野) 482千円 ・浜詰消防サイレン撤去工事 1,283千円 ・磯消防車庫増築工事 978千円 ・消防車庫シャッター改修工事 1,093千円 (大宮町三重、奥大野、網野町浜詰) ・網野北小プールフェンス両開き門扉設置工事 124千円 ・大宮第1分団第1部(口大野)消防車庫鉄扉鉄板取替工事 189千円 ・三津防火水槽用地側溝蓋設置工事 400千円 					
主な財源						
成果・課題	消防資機材や車庫、消防水利等の維持管理を行った。					
事業所管課	消防本部/総務課					

予算科目	09消防費	01消防費	04災害対策費	01防災会議運営事業		
細事業名	01 防災会議運営事業			決算書	P.302	
総合計画	計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実				
	(旧計画項目)	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額		
35千円	234千円	199千円	14.9%	234千円		
目的	地域防災計画の作成及びその実施を推進するほか、市の防災対策に関する重要事項を審議する。					
主要な事務・事業の概要	<p>地域防災計画全編の修正及び地区防災計画の承認等を行うため審議を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○防災会議委員報酬 32千円 <ul style="list-style-type: none"> ・8人×4千円×1回分 ○費用弁償 3千円 <ul style="list-style-type: none"> ・8人×1回分 <p>開催日時 平成29年3月21日 出席委員数 21人(うち、委員報酬対象8人、費用弁償対象8人) 内容 <ul style="list-style-type: none"> ・地域防災計画(一般計画・震災対策編計画・原子力災害対策編)の修正について ・地区防災計画の承認について (大宮町奥大野区、峰山町橋木区) ・指定緊急避難場所の見直しについて(三津区民センター・豊栄小学校体育館・佐濃体育館を新たに追加) </p>					
主な財源						
成果・課題	京都府内初となる地区防災計画の承認を行い、自助・共助の精神に基づく自主防災の推進と地域と連携した災害対応体制の強化を図ることができた。					
事業所管課	企画総務部/総務課					

予算科目	09消防費	01消防費	04災害対策費	02防災行政無線維持管理事業														
細事業名	01 防災行政無線維持管理事業			決算書 P.302														
総合計画	計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実																
	(旧計画項目)	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実																
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額														
45,562千円	45,632千円	70千円	99.8%	42,030千円														
目的	防災行政無線施設及び設備について、保守点検、修繕等により維持管理し、災害時に迅速かつ的確な情報を市民に周知できるようにする。																	
主要な 事務・ 事業の 概要	防災行政無線設備の定期的な保守点検と維持管理及び故障機器の修繕対応を行った。 ○戸別受信機用アンテナ、電池他消耗品等購入費 428千円 ○防災行政無線屋外拡声子局等電気代 2,961千円 ○防災行政無線施設修繕料 7,409千円 ・地区遠隔装置親局、網野町防災行政無線設備、屋外子局（小浜監視所、溝川、浜詰海岸西、遊北）、崇山中継局作業道土砂撤去 ○防災行政無線（同報系）地区遠隔制御装置回線使用料等 3,001千円 （消防本部、福祉事務所を含む各庁舎間を結ぶ遠隔制御装置他） ○防災行政無線設備火災保険料 41千円 ○西山通信施設周辺草刈委託料 80千円 ○防災行政無線設備保守点検委託料 21,017千円 ○戸別受信機設置等委託料 2,456千円 ○戸別受信機管理システムサーバー移設委託料 575千円 ○防災行政無線敷地借上料（丹後町2か所1,562㎡） 16千円 ○電波利用料（同報系） 406千円 ○防災行政無線等操作線関電柱共架料（網野町内） 3千円 ○無線従事者養成講習会受講経費（職員1人分） 55千円 ○防災行政無線間人漁港屋外子局移設工事 3,999千円 ○簡易中継局受信部予備機購入費 3,018千円 ○西山通信施設電気代負担金（京都府施設借用分） 97千円 ※戸別受信機設置台数（H29.3.31現在） (単位：台)																	
	<table border="1"> <tr> <td>峰山</td> <td>大宮</td> <td>網野</td> <td>丹後</td> <td>弥栄</td> <td>久美浜</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>5,037</td> <td>3,009</td> <td>4,487</td> <td>2,234</td> <td>1,838</td> <td>3,256</td> <td>19,861</td> </tr> </table>	峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	合計	5,037	3,009	4,487	2,234	1,838	3,256	19,861			
峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	合計												
5,037	3,009	4,487	2,234	1,838	3,256	19,861												
主な財源	繰入金	地域振興基金繰入金	14,000千円															
成果・課題	○定期的な保守点検や修繕等を行い、適正な維持管理に努めるとともに、市民に的確な情報を迅速に伝えることができた。 ○アナログ式である峰山町及び網野町内の無線設備のデジタル化を検討する必要がある。																	
事業所管課	企画総務部／総務課																	

予算科目	09消防費	01消防費	04災害対策費	05災害支援対策経費
細事業名	01 災害支援対策経費			決算書 P.304
総合計画	計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実		
	(旧計画項目)	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
607千円	607千円	0千円	100.0%	0千円
目的	東日本大震災被災地の復興及び熊本地震発生をうけ、被災地への災害支援を実施する。			
主要な 事務・ 事業の 概要	災害支援活動のための職員派遣に要する経費を執行した。 ○職員出張旅費 503千円 ・熊本地震に係る支援派遣職員旅費（熊本県益城町） （家屋被害調査・保健師支援業務 3人） 346千円 ・職員派遣旅費・移転料 157千円 （陸前高田市役所派遣 1人） ○災害支援物品送料 104千円 ・アルファ米6,000食（熊本県）			
	府負 諸収入	災害救助費負担金 陸前高田市職員派遣交付金		
主な財源				
成果・課題	被災地へ迅速に支援を行うことができた。			
事業所管課	企画総務部／総務課			

予算科目	09消防費	01消防費	04災害対策費	50災害対策一般経費
細事業名	01 災害対策一般経費			決算書 P.304
総合計画	計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実		
	(旧計画項目)	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実		
決算額①	最終予算額②	不用額②-①	執行率	(参考)当初予算額
12,283千円	13,144千円	861千円	93.4%	10,518千円
目的	備蓄物資の購入や各種防災用機器の維持管理を行い、災害に備える。			
主要な事務・事業の概要	<p>災害時に備えた備蓄物資の購入、各種防災用機器の維持管理に要する経費のほか、避難所見直しに伴う新避難所看板作成や自主防災組織育成の補助金など、災害対策に係る経費を支出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○職員人件費（災害本部設置による時間外・休日勤務手当ほか） 4,439千円 <ul style="list-style-type: none"> ・大雨（8/16、8/26、8/29）、台風（13号、16号、18号） 大雪（1/14、1/20、1/23、2/10） ○職員出張旅費 79千円 ○需用費 5,212千円 <ul style="list-style-type: none"> ・災害対策用備蓄物資等 4,961千円 ・防災訓練炊き出し食材費用 28千円 ・起震車等燃料費 8千円 ・防災倉庫等電気代 126千円 ・ネットワークプリンタ修理代 89千円 ○役務費 361千円 <ul style="list-style-type: none"> ・災害対策本部テレビ会議通信料ほか 138千円 ・廃油処理手数料ほか 191千円 ・起震車保険料、防災倉庫等火災保険料 32千円 ○委託料（府防災情報システム保守、冠水装置保守等） 354千円 ○使用料及び賃借料（有料道路通行料、土地借上料、電波利用料） 77千円 ○原材料（災害時土のう用山土） 10千円 ○災害時特設電話設置に伴う中継柱設置工事費（旧佐濃小学校構内） 157千円 ○自主防災組織資機材購入補助金（32団体） 1,536千円 ○負担金（府水難救済会、丹後広域危険物安全協会ほか） 58千円 			
主な財源	府負	災害救助費負担金	1,035千円	
	繰入金	災害対策基金繰入金	3,500千円	
	繰入金	ふるさと応援基金繰入金	1,500千円	
	諸収入	陸前高田市職員派遣交付金	1,047千円	
成果・課題	<p>○地域にぎわい創り推進員と協力して自主防災組織の設立推進に取り組むことにより、新たに14地区で設立でき、地域における防災体制の充実に寄与した。市内では高齢・少数世帯地区が増加しているため、今後は複数地区での合同設置を提案するなど対策を検討していく。</p> <p>○新たに5団体と災害時応援協定を締結し、災害対応体制の更なる強化に寄与した。</p>			
事業所管課	企画総務部／総務課			

予算科目	10教育費	01教育総務費	01教育委員会費	50教育委員会一般経費
細事業名	01 教育委員会一般経費			決算書 P.306
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実		
決算額①	最終予算額②	不用額②-①	執行率	(参考)当初予算額
4,194千円	4,233千円	39千円	99.0%	4,189千円
目的	「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員会を運営する。			
主要な事務・事業の概要	<p>教育委員（委員長1人、委員3人）の報酬、会議参集や研修の費用及び丹後地方教育委員会連合会負担金を支出した。教育委員会会議は、定例会12回、臨時会11回と協議会3回を開催した。また、各種研修や先進地視察・市内学校視察等の活動も行った。</p> <p>なお、28年7月、前教育長の任期満了に伴ない「新教育委員会制度」へ移行し、新教育長と教育委員4人の新体制となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○報酬 3,684千円 <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員4人の報酬 ○旅費等 140千円 <ul style="list-style-type: none"> ・近畿、府内教育委員研修大会参加に要する経費 ・先進地視察研修に要する経費（京都府立図書館、奈良市立富雄北小学校） ※視察テーマ <ul style="list-style-type: none"> ・京都府立図書館の役割について ・コミュニティ・スクール～地域とともにある学校づくりの推進に向けて～ ・各種研修、会議出席等市内用務出席に要する経費 ・有料道路使用料、燃料代 ○消耗品費 <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員交代に係る経費（委員バッジ等） 12千円 ○負担金 358千円 <ul style="list-style-type: none"> ・丹後地方教育委員会連合会負担金 			
主な財源				
成果・課題	<p>○定例会、臨時会のほか、研修会への参加また管内・管外の視察を実施するなど、幅広い識見を得るための積極的な活動を行うことができた。</p> <p>○地域の意向や様々な教育現場の状況を把握し、教育施策の提案や教育委員会の意思決定に反映させるため、管内視察等の充実を図る。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局／教育総務課			

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	03指導主事設置事業	
細事業名	01 指導主事設置事業			決算書	P.308
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実			
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
9,821千円	9,883千円	62千円	99.3%	9,991千円	
目的	非常勤指導主事を配置し、学校教育及び就学前教育の充実を図るとともに、円滑な学校経営を推進する。				
主要な事務・事業の概要	4人の非常勤指導主事を各地域公民館に配置し、学校経営や教育内容について、その専門性と見識や経験を活かした指導、助言を行い、学校現場における課題解消に向けて対応した。				
	○報酬	7,992千円			
	・指導主事報酬 (166,500円×4人×12か月)				
	○共済費	1,263千円			
・社会保険料					
○旅費	566千円				
・費用弁償					
主な財源					
成果・課題	学校経営、教育内容に対する専門的知識や豊かな経験をもとにした指導や助言を行うことにより、不登校を含めた生徒指導上の諸問題への対応など、複雑多様化する教育現場の諸課題の克服に資することができた。				
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課				

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	04学校医委嘱事業	
細事業名	01 学校医委嘱事業			決算書	P.308
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実			
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
24,529千円	24,705千円	176千円	99.2%	24,705千円	
目的	学校保健安全法に基づき、各学校及び幼稚園に学校医、学校歯科医、学校薬剤師を置き、児童生徒等の健康の保持増進及び教育現場の環境衛生の維持向上を図る。				
主要な事務・事業の概要	○報酬				24,508千円
	・医師報酬				
	幼稚園	6人	944千円		
	小学校	19人	6,783千円		
中学校	6人	2,865千円			
・歯科医報酬					
幼稚園	6人	944千円			
小学校	19人	6,783千円			
中学校	6人	2,865千円			
・薬剤師報酬					
幼稚園	6人	608千円			
小学校	19人	2,169千円			
中学校	6人	547千円			
○旅費					
・費用弁償					21千円
主な財源					
成果・課題	学校医、学校歯科医、学校薬剤師の配置により、健康診断（内科・歯科等）、学校環境衛生検査はもとより、保健管理等に関する専門的指導を必要に応じて受けることができ、児童生徒等の健康の保持増進及び教育現場の環境衛生の維持向上を図ることができた。				
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課				

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	05学務経費		
細事業名	01 学務経費			決算書	P.308	
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実				
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実				
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額		
5,740千円	5,942千円	202千円	96.6%	6,047千円		
目的	学齢簿の管理、就学時健診、小中学校の枠を超えた取組及び特別支援学級の交流活動の実施など、教育活動の充実のための環境づくりに取り組む。					
主要な事務・事業の概要	○学齢簿の管理(学齢簿関連システム保守料) 259千円					
	○小中学校音楽フェスティバルの開催 237千円 (消耗品費、印刷製本費、医薬材料費、手数料、会場借上料) 開催日: 平成28年11月19日(土) 場所: 京都府丹後文化会館 参加校: 小学校5校(峰山小、大宮第一小、網野北小、宇川小、久美浜小) 中学校2校(峰山中、丹後中)					
	○特別支援学級ふれあい交流会(消耗品費) 104千円					
	・小学校ふれあい交流会(各中学校区で実施) 小学校及び中学校が集まって交流 実施中学校区: 全中学校区					
	・中学校ふれあい交流会(市全体で実施) 体育交流会 開催日: 平成28年6月15日(水) 場所: 峰山中学校 文化交流会 開催日: 平成28年11月9日(水) 場所: 丹後中学校 参加校: 全中学校					
	○就学時健康診断(医師謝金、消耗品費、費用弁償) 721千円					
	○負担金 4,252千円					
	・日本スポーツ振興センター負担金 4,088千円					
	・京都府学校保健会負担金、京都府学校保健主事会負担金 68千円					
	・京都府特別支援教育研究協議会 10千円					
・教育研究事業負担金 86千円						
○人権教育研究会(消耗品費、印刷製本費) 103千円						
○児童生徒・教職員健康診断(消耗品費、印刷製本費、施設使用料) 64千円						
主な財源						
成果・課題	○各学校の保健衛生環境の維持向上、健康の保持増進を図り、健全で安全な教育環境の推進につながった。 ○小中学校音楽フェスティバルや特別支援学級に在籍する児童生徒の学校間交流を通じて、社会性や豊かな人間性の育成を支援することができた。 ○小中学校音楽フェスティバルについては、児童生徒及び教職員の負担軽減につながる取組内容の検討が必要である。					
事業所管課	教育委員会事務局/学校教育課					

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	06学校安全対策事業		
細事業名	01 学校安全対策事業			決算書	P.308	
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実				
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実				
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額		
6,376千円	6,695千円	319千円	95.2%	6,589千円		
目的	保護者や地域の協力を得ながら安全で安心できる学校づくりを推進し、園児、児童生徒を事件や事故から守る。					
主要な事務・事業の概要	○子ども安心パトロール車(にこにこカー)の運行・管理 各学校・幼稚園に20台、教育委員会事務局に1台を配置し、児童生徒の登下校時に教職員やPTA、地域の見守り隊が巡回し安全確保や犯罪被害防止に努めた。					
	・維持管理費及び運行経費					
	燃料費(ガソリン代) 810千円					
	消耗品費・修繕料(車検、車両消耗品、事故車両修繕ほか) 2,149千円					
	手数料・保険料・自動車借上料・公課費 1,515千円					
	配車一覧					
	1 峰山小、長岡小	8 いさなご小	15 峰山中			
	2 大宮第一小	9 網野南小、網野北小	16 大宮南小、大宮幼			
	3 網野中	10 橘小	17 島津小、網野幼			
	4 丹後中、丹後幼	11 宇川小	18 吉野小、丹波小			
5 大宮中	12 弥栄小、弥栄幼	19 間人小、豊栄小				
6 高龍小	13 久美浜小、久美浜中	20 かぶと山小、かぶと山幼				
7 教育委員会事務局	14 弥栄中	21 新山小、峰山幼				
○スクールガード・リーダー巡回・指導 警察官OBの5人をスクールガード・リーダーに委嘱し、小学校を中心に登下校時の巡回活動及び学校の安全指導を行った。 年間巡回活動等の実績: 66回×5人=330回 報償金・保険料(活動謝金、総合補償保険料) 1,757千円						
○学校の除雪活動 積雪時の登校上の安全性を高めるため、ボランティアによる除雪活動体制づくりを支援した。 保険料(ボランティア活動保険)・修繕料(除雪機) 145千円						
主な財源	府補	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業補助金(2/3)				1,171千円
	諸収入	市有自動車損害共済金				29千円
	諸収入	自動車事故損害賠償金				964千円
	繰入金	ふるさと応援基金繰入金				4,000千円
成果・課題	○各幼稚園・小中学校で、教職員やPTA、地域の見守り隊(ボランティア)等による地域ぐるみの見守り活動や積雪時の除雪活動が展開されるなど、学校を支える地域の安全体制づくりを推進することで、園児、児童、生徒の安全につながっている。 ○子ども安心パトロール車(にこにこカー)やスクールガード・リーダーによる登下校時の巡回の継続等により、更に安全体制の強化を図っていくことが必要である。 ○通学路の安全性をより高めるため、関係機関と連携し除雪体制を推進する必要がある。					
事業所管課	教育委員会事務局/学校教育課					

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	07学校情報化推進事業			
細事業名	01 学校情報化推進事業			決算書	P.310		
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実					
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実					
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額			
22,232千円	22,374千円	142千円	99.3%	18,010千円			
目的	小中学校の情報通信ネットワーク機器の整備及び維持管理を行うとともに、情報管理の徹底と利用価値の高い学校情報化の環境を構築する。						
主要な事業・事業の概要	市内全小中学校に整備した校内LAN及び校務用パソコン、普通教室用パソコン、情報教室用パソコン及びサーバー機器の維持管理を行うとともに、ウイルス対策を行った。また、市内全小中学校に校務支援システムの導入を行った。						
	○需用費	1,178千円					
	・パソコン・校内LAN関連消耗品	41千円					
	・パソコン・校内LAN関連修繕費(43件)	1,137千円					
	○委託料	13,076千円					
	・サーバーシステム・パソコン・校内LAN保守委託料	3,667千円					
	・サーバー設定委託料(校務用サーバーほか)	5,138千円					
	・校務支援システム操作研修委託料	563千円					
	・校務支援システム導入作業委託料	2,849千円					
	・グループウェア保守委託料	713千円					
	・パソコン整備委託料(教職員異動に伴うパソコン設定作業)	146千円					
	○使用料及び賃借料	7,236千円					
	・パソコン借上料	2,013千円					
	・サーバーシステム借上料(8台)						
	・ソフトウェア使用料	5,223千円					
	・ウイルス対策ソフト(1,800台分)、サーバー用ソフトほか						
	○備品購入費	742千円					
	・校務用プリンター購入(13台)						
主な財源							
成果・課題	○ネットワークを利用した遠隔操作などにより、全小中学校に整備した校内LAN、1,756台のパソコン(校務、普通教室、情報教室)及びサーバー機器の維持管理を効果的かつ適切に行うことができた。 ○新学習指導要領に対応した学校のICT環境水準の維持・向上を図るため、計画的な機器の更新や整備を進める必要がある。						
事業所管課	教育委員会事務局/学校教育課						

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	08学校再配置事業			
細事業名	01 学校再配置推進事業			決算書	P.310		
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実					
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実					
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額			
1,051千円	1,096千円	45千円	95.8%	1,532千円			
目的	京丹後市学校再配置基本計画に基づく「学校づくり準備協議会」を設置し、学校再配置による新しい学校づくりに向けた取組を推進する。						
主要な事業・事業の概要	学校再配置を推進するため、開校式の実施及び閉校に伴う地域(旧校区)での取組を支援した。						
	平成28年度開校	いさなご小学校					
	○式典関連経費	114千円					
	・費用弁償(開校式:校歌校章作成者)	36千円					
	・需用費(式典用装飾花、看板等)	69千円					
	・役務費(白布等クリーニング手数料)	9千円					
	○閉校記念誌補助金(吉原小)	937千円					
主な財源							
成果・課題	○再配置後の校区の関係者で構成する「学校づくり準備協議会」を設置し、新たな学校づくりに向けて取り組み、計画通りの再配置を実現することができた。 ○引き続き、学校再配置基本計画の後期計画に基づき、学校再配置を計画的に推進する必要がある。						
事業所管課	教育委員会事務局/学校教育課						

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	10就学支援・教育相談事業		
細事業名	01 就学支援・教育相談事業			決算書	P.310	
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実				
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実				
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額		
2,162千円	2,162千円	0千円	100.0%	2,162千円		
目的	児童生徒の不登校や問題行動の状況を把握・分析し、相談・支援体制を整え、児童生徒が安定した学校生活を送ることができるように支援する。					
主要な事務・事業の概要	<p>○教育相談委託料 1,920千円</p> <p>各学校において教育相談を担当する教職員や児童生徒、保護者に対し、相談事例に応じたアドバイスや助言を行うため、カウンセリングの専門的知識を有する相談員（臨床心理士）による教育相談事業や研修を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談会場 大宮庁舎内会議室 ・実施回数 毎月2回（80,000円×月2回×12か月） ・相談件数 99件（延べ件数） ・教育相談担当者研修（年3回）、心の教室相談員研修（年3回） ・事例研修（3グループ（1グループ5人））各グループ年5回実施 					
	<p>○就学指導に係る発達検査記録用紙セット等 242千円</p> <p>WISC-IV知能検査記録用紙、知能検査換算アシスタント LDI-R検査記録用紙</p>					
主な財源						
成果・課題	<p>○専門性の高い臨床心理士による研修や教育相談を継続して実施することで、児童生徒の問題行動の防止や不登校等の解消につながった。</p> <p>○教員が心理発達アセスメントの実施や分析を行い、教育相談や就学指導に活用するために、研修等を通じて専門性をより高める必要がある。</p>					
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課					

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	10就学支援・教育相談事業		
細事業名	02 教育支援センター管理運営事業			決算書	P.310	
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実				
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実				
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額		
7,894千円	8,121千円	227千円	97.2%	9,152千円		
目的	不登校、又はその傾向にある児童生徒の学校生活への復帰と社会的自立を支援する。					
主要な事務・事業の概要	<p>不登校等にある児童生徒に対し、相談及び適応指導を通じ、学校生活への復帰と社会的自立を支援するため、京丹後市教育支援センター「麦わら」の指導員が学校訪問等を行うとともに、関係機関や学校と連携しながら支援を行った。</p> <p>教育支援センター運営経費</p> <p>配置人数 5人 教育支援センター指導員</p> <p>配置体制 3人体制 指導員 ①週2日 1日7時間 1人 ②週3日 1日7時間 4人</p> <p>通所者 14人</p> <p>相談延べ件数 1,006件</p> <p>来所延べ人数 1,792人</p>					
	<p>○共済費（労災保険料） 21千円</p> <p>○臨時職員賃金（指導員） 6,843千円</p> <p>○旅費（研修会出席） 10千円</p> <p>○需用費（消耗品費、燃料費、食糧費、修繕料、医薬材料費） 359千円</p> <p>○役務費（電話代、切手代、自動車登録手数料、自動車損害保険料） 105千円</p> <p>○教育相談委託料 509千円</p> <p>相談延べ件数 42件</p> <p>○バス運転委託料（野外体験学習） 24千円</p> <p>○備品購入費（ストーブ） 20千円</p> <p>○公課費（自動車重量税） 3千円</p>					
主な財源	繰入金	ふるさと応援基金繰入金				5,000千円
成果・課題	<p>○専門性の高い指導員による児童生徒等への学習・生活支援や、臨床心理士によるカウンセリングなどにより、個々のケースに応じた支援を行い、学校復帰、社会的自立を図ることができた。</p> <p>○教育支援センターの機能や役割について、児童生徒や保護者への更なる周知が必要である。</p>					
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課					

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	11小中一貫教育推進事業
細事業名	01 小中一貫教育推進事業			決算書 P.312
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
684千円	772千円	88千円	88.6%	1,142千円
目的	「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、小中一貫教育の推進に向け、協議会及び専門部会で調査研究を行う。			
主要な事業の概要	<p>小中一貫教育研究推進協議会及び学校教育連携専門部会による調査研究を行うとともに、「小中一貫全市展開」及び「京丹後市学校教育指導の重点ダイジェスト版」のポスター・チラシを作成した。また、「京丹後市小中一貫教育モデルカリキュラム」を増刷し、各学校等へ配布した。</p> <p>平成28年度より市内全域での小中一貫教育を実施し、教育活動の実践、検証、評価を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小中一貫教育研究推進協議会（委員謝金、費用弁償、視察旅費ほか） 361千円 <ul style="list-style-type: none"> ・協議会委員 14人（大学教授、学識経験者、PTA、学校教職員等） ・協議会の開催 3回 ・調査研究事業 小中一貫教育実施校における効果と課題の整理 ○学校教育連携専門部会（消耗品費、印刷製本費） 308千円 <ul style="list-style-type: none"> ・専門部会 学校運営部員 6人 カリキュラム作成部員 8人 ・開催回数 学校運営部会 3回 カリキュラム作成部会 15回 丹後学（6回）、社会科（7回） 新学習指導要領検討部会（2回） ○教育フォーラムの開催（消耗品費） 15千円 <ul style="list-style-type: none"> ・教育フォーラム（参加者：120人） 開催日：平成28年12月1日（木） 場所：網野中学校 			
主な財源				
成果・課題	<p>○平成28年度より小中一貫教育が市内全域での実施となり、小中一貫教育推進基本計画に基づくより良い教育体制の整備を推進することができた。</p> <p>○小中一貫教育研究推進協議会及び学校教育連携専門部会による研究と検証を積み重ねた。</p> <p>○引き続き、小中一貫教育を推進するための研究及び検証を進める必要がある。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課			

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	11小中一貫教育推進事業
細事業名	02 小中一貫教育実践事業			決算書 P.312
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
6,341千円	7,170千円	829千円	88.4%	7,170千円
目的	「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、子どもたちの育ちと指導の一貫性を目指すより良い教育の推進に向け、平成28年度から市内全域で小中一貫教育を実践する。			
主要な事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○小中一貫教育の実践（報償費、消耗品費、印刷製本費等） 3,552千円 <ul style="list-style-type: none"> ・峰山学園（合唱祭、清掃活動、部活・授業体験、講演会等） ・大宮学園（合唱祭、清掃活動、授業研究会等） ・網野学園（合唱祭、部活動体験、リーフレット作成等） ・丹後学園（合唱祭、小小連携交流会、PTA連携あいさつ運動、授業研究会等） ・弥栄学園（合唱祭、心の文化発表会、部活動体験等） ・久美浜学園（体育祭、あいさつ運動、リーフレット作成、授業研究会等） ・特色ある学校づくりの支援（報償費、消耗品費、委託料等） 1,613千円 実施校：小学校14校、中学校5校 主な取組内容：郷土学習、環境学習、農業体験ボランティア学習、キャリア学習等 ○学園看板（網野学園、丹後学園、弥栄学園、久美浜学園） 1,176千円 			
主な財源	繰入金	ふるさと応援基金繰入金	4,000千円	
成果・課題	<p>○平成28年度より小中一貫教育が市内全域で完全実施となり、各学園が教育目標「目指す子ども像」を設定し、カリキュラムや指導方法を統一することにより、学園内の小中学校が一体となった教育活動を系統的に行うことができた。</p> <p>○合唱祭等の小中連携、合同校外学習等の小小連携、合同避難訓練等の幼保小中連携等、学園内の小中学校が連携した教育活動の充実を図ることができた。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課			

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	12教育のまちづくり推進事業
細事業名	01 学校支援地域本部事業			決算書 P.312
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
5,329千円	5,350千円	21千円	99.6%	5,334千円
目的	「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、「学校のニーズ」と「地域の人の持つ力」を結び付け、学校・家庭及び地域が協力して子どもを育む環境の充実を図る。			
主要な事務・事業の概要	<p>地域全体で学校教育を支援するため、さまざまな特技や技能をもった地域の人材を学校支援ボランティアとして登録していただき、全ての幼稚園、小・中学校で、学習支援やクラブ活動支援、学校の環境整備などの活動を行った。</p> <p>○実施期間 平成28年4月1日～平成29年3月31日</p> <p>○実施地域 市内全ての小学校(19校)・中学校(6校)・幼稚園(6園)</p> <p>○地域コーディネーターの配置 6人(各地域公民館)</p> <p>○ボランティア登録者数 546人(平成28年度新規登録者数36人)</p> <p>○広報誌の発行(2回) ボランティア募集・活動報告</p> <p>○ボランティア活動</p> <p><活動内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習支援(教科指導補助、総合的な学習の時間の講師、部活動指導支援) ・環境支援(学校環境整備、学校図書室整理、安全確保、学校行事等の補助等) <p><活動実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・峰山中学校区 660日/3,191人 ・大宮中学校区 134日/208人 ・網野中学校区 600日/4,539人 ・丹後中学校区 492日/2,852人 ・弥栄中学校区 321日/722人 ・久美浜中学校区 433日/3,124人 <p>○謝金 4,581千円</p> <p>○旅費 324千円</p> <p>○消耗品・印刷製本費 420千円</p> <p>○使用料(有料道路通行料) 4千円</p>			
主な財源	府補	地域で支える学校教育推進事業補助金(2/3)	3,333千円	
成果・課題	<p>○地域住民の経験や特技を学校の教育活動等に活かす中で多世代交流に繋がり、市民の生きがい作りになっている。</p> <p>○地域による学校の「支援」から、地域と学校のパートナーシップに基づく双方向の「連携・協働」体制に発展させる必要がある。</p> <p>○学校活動の多様化に伴うニーズを的確に把握するとともに、地域特性を活かした人材(ボランティア登録者)をより多く確保していく必要がある。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局/社会教育課			

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	12教育のまちづくり推進事業
細事業名	02 学習支援体制整備事業			決算書 P.312
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
30,158千円	30,263千円	105千円	99.6%	2,098千円
目的	「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、放課後や土曜日を活用した教育活動の実証研究を実施することにより、子どもたちの学びを支援する仕組みづくりを進める。			
主要な事務・事業の概要	<p>地域ぐるみでの放課後学習の環境づくり「小学生放課後わくわく自習室」を継続するとともに、土曜日を活用した教育活動、情報メディアを活用した学習支援の実証研究を行った。</p> <p>また、中学校の放課後学習支援を効果的に行うため、ICT機器を整備した。</p> <p>○教育活動の実証研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生の放課後学習支援 <ul style="list-style-type: none"> 小学生放課後わくわく自習室(運営委託料) 215千円 地域人材を活用し、地区公民館等を会場に、毎週水曜日の放課後等に学習支援を行った。 実施地区(地域):宇川連合区、黒部区、佐野甲区、奥大野区 ・中学生の放課後学習支援 29,254千円 <ul style="list-style-type: none"> 学習が遅れがちな中学3年生を対象に、学習習慣の確立と基礎学力の定着、学力向上による高校進学率の向上を目的として、放課後の学習支援を行った。また、学習支援をより効果的に行うため、全中学校にICT機器を整備した。 放課後学習支援(講師謝金、消耗品費) 1,008千円 ICT機器の導入(備品購入費) 28,246千円 <ul style="list-style-type: none"> タブレット型パソコン 246台(41台×6校) プロジェクタ型電子黒板 6台(1台×6校) など ・土曜日を活用した教育活動(消耗品費、役務費) 689千円 <ul style="list-style-type: none"> 第二土曜日を「わくわく学びサタデー」に設定し、各学校の創意工夫による教育活動の調査研究を全小中学校で実施した。 <p>○情報メディアの活用研究として、高校受験対策番組「数学基礎講座」をケーブルテレビで放映するとともにDVD教材として貸し出しを行った。</p>			
主な財源	府補	地域で支える学校教育推進事業費補助金(2/3)	762千円	
	府補	地域で支える学校教育推進事業費補助金(ICT)(10/10)	28,246千円	
	府委	土曜日を活用した教育の在り方実践研究事業費委託金(10/10)	120千円	
成果・課題	<p>○小学生を対象とした「放課後わくわく自習室」を4地区(地域)で継続実施することで、地域と学校が連携した学びの支援体制づくりの検証を進めることができた。</p> <p>○中学生の放課後学習支援を実施し、学習習慣の確立と基礎学力の定着に寄与した。また、ICT機器の整備により、個々の学習進度に応じた学習ができる環境の構築を進めた。</p> <p>○放課後や土曜日を活用した教育活動の実証研究や情報メディアの活用研究を踏まえ、ニーズに応じた支援体制を構築する必要がある。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局/学校教育課			

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	12教育のまちづくり推進事業
細事業名	03 授業実践力向上対策事業			決算書 P.312
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
392千円	471千円	79千円	83.2%	471千円
目的	新・授業実践力開発講座、小中一貫出前講座及び教育実践力サポート講座を開設し、教員の資質向上を図る。			
主要な事務・事業の概要	<p>教職員が指導理論を学ぶ授業実践力開発講座及び出前講座を実施した。また、小中学校教員が実践課題を克服し、創意工夫、改善を加えた授業への実践力を身に付けるため、教育実践力サポート講座を実施した。</p> <p>○新・授業実践力（学級経営力向上）開発講座（講師謝金ほか） 254千円 経験豊富な教職員をコーディネーターとして委嘱し、小グループによる指導案検討のワークショップや公開授業を実施した。また、市外先進校を視察し、学習指導や学級経営の在り方について研鑽を積んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師 兵庫教育大学大学院 長澤憲保 教授 ・開催回数 全7回（うち1回が市外先進校視察） ・参加者 13人（うち小学校8人、中学校5人） <p>○授業実践力小中一貫出前（検証）講座（講師謝金） 60千円 授業力の検証に資する講座として実施した。授業構想、実践と評価などについて、講師の指導助言も得ながら、研鑽を積んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師 兵庫教育大学大学院 長澤憲保 教授 ・開催回数 2回 ・参加者 32人（峰山学園15人、網野学園17人） <p>○教育実践力サポート講座（講師謝金ほか） 78千円 各講座において、専門性の高い講師による指導により参加者の実践力を高め、講座での学びを勤務校において広げることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施教科 音楽（5回）、外国語（4回）、体育（4回） 道徳（5回）、学級経営（3回） ・参加者 総参加者56人 			
主な財源				
成果・課題	<p>○大学院教授の講義による理論研修とグループ研修を通して、児童生徒の主体的な学習活動の展開、質の高い授業づくり及び学級運営など、授業実践力等の向上に資することができた。</p> <p>○小中学校の教員がそれぞれの授業を参観し、感想や意見交流をすることで、授業実践についての学びが深まり、教員の義務教育9年間を見通した指導力の向上に資することができた。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課			

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	13いじめ防止推進事業
細事業名	01 いじめ防止啓発推進事業			決算書 P.314
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
216千円	335千円	119千円	64.4%	335千円
目的	「京丹後市いじめ防止等基本方針」に基づきいじめ防止等の啓発活動を実施し、市と市民が一体となっていじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進する。			
主要な事務・事業の概要	<p>11月を「いじめ防止推進月間」と位置付け、いじめ問題やいじめの防止等の取組について、市民にいじめ問題について正しい理解を深めてもらうとともに、意識の高揚を図るため、街頭キャンペーンによる啓発グッズの配布や懸垂幕の設置を行った。また、学校、家庭、地域社会の連携強化を図るため、「いじめ防止講演会」を実施した。さらに、問題事象に対する迅速な対応や早期解決に向けた支援を行うため、いじめ相談専用電話を設置した。</p> <p>○報償費 92千円 ・いじめ防止講演会講師謝金 開催日：平成28年11月15日（火） 会場：アグリセンター大宮 講師：特定非営利法人「ジェントルハート」代表理事 小森美登里氏 参加者数：102人</p> <p>○需用費 98千円 ・印刷製本費 90千円 いじめ防止講演会チラシ（21,000枚） いじめ防止啓発グッズ（PRカード 児童用300枚）</p> <p>・消耗品費（講演会花代、事務用品） 8千円</p> <p>○役務費 26千円 ・いじめ相談専用電話設置費 フリーダイヤル利用料、いじめ相談専用携帯電話利用料 相談受付：24時間対応 対応者：教育委員会事務局指導主事、臨床心理士 ※いじめ相談件数：0件</p> <p>○インターネットモラル研修会 ※京都府の出前講座を活用 開催日：平成28年8月5日（金） 会場：京丹後市役所大宮庁舎 講師：京都府総合教育センター 谷田浩平氏・平野学氏 参加者数：52人</p>			
主な財源				
成果・課題	<p>○いじめ防止講演会及び街頭啓発キャンペーンを通じて、広く市民にいじめの問題等について、正しい理解や意識の高揚を図ることができた。</p> <p>○スマートフォン等を利用したSNSなど、インターネットを介した誹謗中傷やいじめ事象が増加傾向にあることから、保護者への啓発活動と併せて教職員の指導力の向上を図る必要がある。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課			

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	13いじめ防止推進事業			
細事業名	02 いじめ防止対策等運営事業			決算書	P.314		
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実					
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実					
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額			
248千円	356千円	108千円	69.6%	356千円			
目的	いじめ問題対策連絡会議及びいじめ防止対策等専門委員会を設置し、関係機関が一体となって、いじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進する。						
主要な事務・事業の概要	○いじめ問題対策連絡会議経費（委員数：21人） 17千円 保育所、幼稚園及び小中学校におけるいじめの防止対策や早期発見、いじめへの対処等に関する協議を行うため、「いじめ問題対策連絡会議」を設置し、教育、福祉、医療、保健、警察及び司法等の関係機関との連携を図った。 開催日：平成28年6月6日（月） 会場：京丹後市役所大宮庁舎 ・報償費（委員謝金） 16千円 ・旅費（費用弁償） 1千円						
	○いじめ防止対策等専門委員会経費（委員数：5人） 231千円 いじめの防止等のための対策に関する事項や重大ないじめ事象が発生した場合に調査を行うため、弁護士、医師、臨床心理士、学識経験者からなる「いじめ防止対策等専門委員会」を設置し、それぞれの専門的な立場からいじめ事象に対する審議を行った。 開催日：第1回 平成28年11月12日（土） 第2回 平成29年3月25日（土） 会場：京丹後市役所大宮庁舎 ・報酬 126千円 ・旅費（費用弁償） 89千円 ・消耗品費 16千円						
主な財源	国補 教育支援体制整備事業費補助金（1/3）					77千円	
成果・課題	○専門的な立場から指導・助言を受けることにより、学校に対していじめの防止等のための取組やいじめ事象の解決に向けた支援を行うことができた。 ○いじめは、どの子どもにも、どの学校でも起こりうることを踏まえ、いじめの未然防止及び早期発見に向けた取組を推進する必要がある。						
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課						

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	14学校跡施設管理事業			
細事業名	01 学校跡施設管理事業			決算書	P.314		
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実					
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実					
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額			
3,597千円	3,601千円	4千円	99.8%	4,546千円			
目的	学校再配置により閉校となった学校施設の維持管理を行う。						
主要な事務・事業の概要	○閉校施設等修繕料（13施設） 755千円 旧五箇小・旧大宮第三小・旧三津小・旧郷小・旧橘小・旧竹野小・旧黒部小 旧野間小・旧川上小・旧海部小・旧田村小・旧湊小・旧宇川中						
	○貯水槽法定検査手数料 19千円 ○建物火災保険料 259千円 ○登記委託料 337千円 旧黒部小学校用地登記委託料 ○その他委託料 498千円 遊具点検委託料、貯水槽清掃点検委託料、雑木伐採委託料、漏水調査委託料 ○工事請負費 1,599千円 低圧変更工事（旧海部小学校、旧川上小学校） 1,145千円 旧野間小学校低鉄棒撤去工事 40千円 旧宇川中学校湯水ポンプ取替工事 365千円 旧川上小学校水銀灯撤去工事 49千円 ○学校教育施設整備基金積立金（旧大宮第三小学校） 130千円 （平成28年度建物賃貸借料相当額 256,317円の1/2以上を積立）						
主な財源							
成果・課題	○学校跡施設の管理を適切に行なった。 ○閉校施設の利活用について、情報共有を図りながら施設利用に繋がる取り組みを進めていく必要がある。 ○利活用が進まない施設については、施設の耐震性及び老朽化の状況等を考慮し、解体も含めて検討する必要がある。						
事業所管課	教育委員会事務局／教育総務課						

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	15児童生徒国際交流事業	
細事業名	01 児童生徒国際交流事業			決算書	P.314
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実			
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
3,300千円	3,421千円	121千円	96.4%	0千円	
目的	語学力の向上はもとより、国際感覚をもちグローバル社会で活躍できる人材育成へつながる国際交流事業を推進する。				
主要な事務・事業の概要	<p>○小学生の国際交流事業 63千円</p> <p>平成27年6月のケネディ駐日大使の来丹を契機に、鳴き砂の浜があるマサチューセッツ州のマンチェスター・メモリアル小学校と島津小学校との交流を行い、児童が製作する作品の交換等を行った。 消耗品費、通信運搬費、ビデオ撮影・編集委託料</p> <p>○中学生の海外派遣 3,237千円</p> <p>学校での授業やホームステイを通じて、語学力の向上及び国際的視野を持った人材を育成するため海外へ派遣した。 派遣先：ニュージーランド ニュープリマス市 スポッツウッド・カレッジ 派遣期間：平成29年3月17日（金）～25日（土）の8泊9日間 派遣生徒：中学2年生 9人（選考により決定）</p> <p>・事前視察（平成28年8月1日～4日） 605千円 報償物品、特別旅費、通信運搬費</p> <p>・海外派遣（平成29年3月17日～25日） 2,543千円 報償物品、旅費、燃料費、通信運搬費、バス運転委託料 有料道路通行料、中学生海外派遣事業費補助金 ほか</p> <p>・その他（事前研修会、国際電話代等）経費 89千円 講師謝金、消耗品費、印刷製本費、通信運搬費 ほか</p>				
	主な財源				
成果・課題	<p>○中学生海外派遣及び小学生国際交流を行い、語学力の向上及び国際的視野をもった人材育成へつながる国際交流事業を推進することができた。</p> <p>○国際的視野を持った児童生徒を育成するため、国際交流事業の取組の充実を図る必要がある。</p>				
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課				

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	50事務局一般経費	
細事業名	01 事務局一般経費			決算書	P.316
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実			
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
9,631千円	10,022千円	391千円	96.0%	11,630千円	
目的	教育委員会事務局の円滑な運営を行う。				
主要な事務・事業の概要	<p>教育委員会事務局の運営に要する経費、所属する協議会への負担金等を支出した。</p> <p>○臨時職員経費 2,894千円 ・臨時職員 2人</p> <p>○報償費 40千円 ・教育委員会活動点検評価謝金 2人</p> <p>○旅費等 360千円 ・近畿都市教育長協議会、京都府都市教育長協議会等 有料道路通行料</p> <p>○教育委員会交際費 503千円 ・教育委員会交際費、激励金</p> <p>○委託料 2,072千円 ・事務補助業務人材派遣委託料</p> <p>○教育委員会維持管理経費（消耗品費、使用料等） 517千円</p> <p>○公用車の維持管理及び修理代 2,345千円</p> <p>○各協議会、団体への負担金及び補助金 181千円 （全国都市教育長協議会負担金、近畿都市教育長協議会負担金、 定時制通信教育振興会負担金、京都暁星高等学校私学助成金 等）</p> <p>○賠償金（2件分） 719千円</p>				
	主な財源	諸収入	市有自動車損害共済金		1,855千円
成果・課題	<p>教育委員会事務局の運営について、公用車事故に伴う経費（公用車修理代、賠償金）を除いては、経費削減に努めながら円滑な事務執行ができた。</p>				
事業所管課	教育委員会事務局／教育総務課				

予算科目	10教育費	01教育総務費	03奨学費	01奨学金事業
細事業名	01 奨学金事業			決算書 P.318
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
28,303千円	28,313千円	10千円	99.9%	28,063千円
目的	経済的に困窮している世帯で勉学意欲のある生徒や学生に対し、奨学金の給付及び貸付を行い、就学を支援する。			
主要な事務・事業の概要	<p>経済的に困窮している世帯（家庭）の勉学意欲のある高等学校、高等専門学校、専修学校、中等教育学校後期課程及び特別支援学校高等部の生徒、大学生、短期大学生、大学院生を対象に奨学金を給付した。また、28年度大学等在学者及び29年度大学等進学予定者を対象に、奨学金の貸付を行った。</p>			
	<ul style="list-style-type: none"> ○奨学金選考・検討委員会委員の報酬及び費用弁償 53千円 <ul style="list-style-type: none"> ・報酬 48千円 委員 4,000円（半日）×6人×2回 ・費用弁償 5千円 ○奨学金給付金 21,950千円 <ul style="list-style-type: none"> ・高校生 5,460千円 <ul style="list-style-type: none"> 月額5,000円×12月×91人 ・大学生 16,490千円 <ul style="list-style-type: none"> 月額10,000円×12月×137人 月額10,000円×5月×1人（退学によるもの） （大学88人、大学院3人、短期大学13人、専修学校33人、高等専門学校1人） ○貸付奨学金 6,300千円 <ul style="list-style-type: none"> ・修学支援金（3人） 3,000千円 <ul style="list-style-type: none"> 大学生等 1,000千円×3人 ・入学支度金（5人） 3,300千円 <ul style="list-style-type: none"> 進学予定者 700千円×4人 500千円×1人 			
主な財源	繰入金	奨学基金繰入金	21,950千円	
	繰入金	谷口謙・未来応援基金繰入金	6,300千円	
成果・課題	<p>○厳しい経済状況の中で、勉学意欲と能力のある生徒及び学生への就学支援を行うことにより、困窮世帯の生徒及び学生が勉学に取り組むための環境を整えることができた。</p> <p>○奨学基金をより長く運用していくため、制度の見直しが必要となっている。</p>			
	事業所管課	教育委員会事務局／教育総務課		

予算科目	10教育費	01教育総務費	03奨学費	02奨学基金													
細事業名	01 奨学基金			決算書 P.318													
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実															
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実															
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額													
2,073千円	2,073千円	0千円	100.0%	704千円													
目的	経済的理由により高等学校、大学等への修学が困難な者に対し奨学金を給付することを目的とした奨学基金への積立金																
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○奨学基金積立金 2,043千円 （旧網野町で貸し付けた奨学資金償還金分等） ○奨学基金積立金（利子分） 30千円 <p>(参考) 基金の状況 (単位：千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">平成27年度末 現在高 ①</th> <th colspan="3">平成28年度中増減額</th> <th rowspan="2">平成28年度末 現在高 ①-②+(③+④)</th> </tr> <tr> <th>繰入金 ②</th> <th>運用利子 ③</th> <th>積立金 ④</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>169,134</td> <td>21,950</td> <td>30</td> <td>2,043</td> <td>149,257</td> </tr> </tbody> </table> <p>(充当：1事業) ・奨学金給付等事業 21,950千円</p>				平成27年度末 現在高 ①	平成28年度中増減額			平成28年度末 現在高 ①-②+(③+④)	繰入金 ②	運用利子 ③	積立金 ④	169,134	21,950	30	2,043	149,257
	平成27年度末 現在高 ①	平成28年度中増減額				平成28年度末 現在高 ①-②+(③+④)											
繰入金 ②		運用利子 ③	積立金 ④														
169,134	21,950	30	2,043	149,257													
主な財源	財産収入	奨学基金利子収入	30千円														
	諸収入	奨学資金貸付償還金	698千円														
	諸収入	奨学資金貸付償還金滞納繰越分	1,345千円														
成果・課題	/																
	事業所管課	財務部／財政課															

予算科目	10教育費	01教育総務費	04外国青年招致事業費	01外国語指導助手招致事業			
細事業名	01 外国語指導助手招致事業			決算書	P.318		
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実					
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実					
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額			
27,705千円	27,937千円	232千円	99.1%	29,865千円			
目的	外国青年を外国語指導助手（ALT）として招致・任用し小中学校で授業等の補助を行うことで、外国語教育及び国際理解教育の促進を図る。						
主要な 事務・ 事業の 概要	小中学校において外国語教育及び国際理解教育を促進するため、自治体国際化協会のJETプログラム事業によるあっせんを受け、6人の外国語指導助手を招致・任用し、その経費を支出した。						
	○報酬等	24,542千円					
	・外国語指導助手6人の報酬、社会保険料 ・外国語指導助手支援員の謝金、賃金等						
	○旅費等	1,590千円					
	・研修旅費（6人分）及び帰国旅費（4人分）等 ・有料道路通行料						
○住居に要する費用等	266千円						
・火災保険料、借家更新料等							
○負担金	1,307千円						
・来日直後がインターン参加費負担金、自治体国際化協会負担金、JET来日渡航費用負担金							
主な財源	繰入金	ふるさと応援基金繰入金			10,000千円		
成果・課題	外国語指導助手を各町に1人ずつ配置することで、児童・生徒に生きた外国語や外国文化を学ぶ機会を直接的・継続的に確保することができ、外国語教育と国際理解教育の促進に繋がることができた。						
事業所管課	教育委員会事務局／教育総務課						

予算科目	10教育費	01教育総務費	04外国青年招致事業費	02国際交流員招致事業			
細事業名	01 国際交流員招致事業			決算書	P.320		
総合計画	計画項目	24 国際交流・多文化共生と広域連携の促進					
	(旧計画項目)	27 国際交流による多文化共生と地域間連携の活性化					
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額			
2,997千円	3,282千円	285千円	91.3%	0千円			
目的	一般財団法人自治体国際化協会の「語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）」を活用して国際交流員を任用し、現代社会のグローバル化に対応する。						
主要な 事務・ 事業の 概要	国際交流員を学校教育課に配置し、国際交流や異文化理解について、その専門性と見識や経験を活かした指導、助言を行った。						
	○国際交流員（1人）の報酬、共済費	2,560千円					
	・国際交流員報酬 2,240千円 （280,000円×8か月（平成28年8月～平成29年3月））						
	・社会保険料 320千円						
	○旅費	78千円					
・国際交流員の研修（費用弁償） 78千円							
○国際交流員の賃貸住宅に係る経費	81千円						
・住居の敷金、火災保険料、賃貸住宅サポート手数料 64千円 ・消耗品費、修繕料（住居の鍵交換） 17千円							
○自治体国際化協会負担金	278千円						
・国際交流員人員割、傷害保険負担金 100千円 ・来日渡航費用負担金 119千円 ・来日直後オリエンテーション参加費用負担金 59千円							
主な財源							
成果・課題	国際交流員を配置し、国際交流関係事業の実施や児童生徒の国際理解教育の推進を行うことができた。						
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課						

予算科目	10教育費	02小学校費	01学校管理費	02小学校管理運営事業		
細事業名	01 小学校管理運営事業			決算書	P.320	
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実				
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実				
決算額①	最終予算額②	不用額②-①	執行率	(参考)当初予算額		
137,610千円	140,342千円	2,732千円	98.0%	152,297千円		
目的	適正な学校運営や教育環境の充実に取り組み、小学校における円滑な教育活動を実施する。					
主要な事務・事業の概要	<p>学校運営に必要な維持管理等を行うとともに、教育環境を整えるための体制整備を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○需用費 102,636千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費、燃料費（事務用品、用紙、コピー、灯油ほか） 32,958千円 ・食糧費、印刷製本費（来客用茶、通知簿印刷ほか） 655千円 ・電気代 22,361千円 ・水道料 45,738千円 ・修繕費（印刷機、畳等の修繕） 924千円 ○役務費 5,461千円 <ul style="list-style-type: none"> ・電話代、郵送料 3,564千円 ・手数料（ピアノ調律、ミシン調整、ごみ処理ほか）、保険料 1,897千円 ○委託料 22,904千円 <ul style="list-style-type: none"> ・プール水質検査委託料 227千円 ・作業員業務人材派遣委託料（11校、11人） 22,465千円 ・理科薬品廃棄処分、蜂の巣駆除委託料 212千円 ○使用料及び賃借料 1,572千円 <ul style="list-style-type: none"> ・テレビ受信料、ガス警報器使用料 285千円 ・印刷機借上料、コピー機借上料 1,287千円 ○備品購入費 4,379千円 <ul style="list-style-type: none"> ・保健器具、プールフロア、電話機、ストーブほか ○負担金、補助及び交付金 658千円 <ul style="list-style-type: none"> ・校長会、教頭会、教務主任会、事務研究会ほか各種団体負担金 					
	主な財源	繰入金 ふるさと応援基金繰入金				
成果・課題	<p>○教育環境の整備や維持管理など、児童が安心して学ぶことのできる学校づくりに取り組み、小学校における円滑な教育活動を実施することができた。</p> <p>○より充実した教育環境の整備と学校施設の効率的な管理運営に努めていく必要がある。</p>					
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課					

予算科目	10教育費	02小学校費	01学校管理費	02小学校管理運営事業		
細事業名	02 小学校事務補助経費			決算書	P.320	
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実				
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実				
決算額①	最終予算額②	不用額②-①	執行率	(参考)当初予算額		
1,357千円	1,425千円	68千円	95.2%	1,541千円		
目的	学校事務職員の複数配置を要する小学校に事務職員を配置し学校事務をサポートすることにより、円滑な教育活動の実施と適正な学校運営を行う。					
主要な事務・事業の概要	<p>複数配置校 大宮第一小学校 事務補助（1人） （1日7時間・週4日勤務）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○臨時職員賃金 1,151千円 ○共済費（社会保険料、労災保険料） 206千円 					
	主な財源					
成果・課題	<p>○学校事務の点からサポートすることにより、円滑な教育活動の実施と適正な学校運営を行うことができた。</p> <p>○学校運営に支障をきたすと判断する場合には、今後も配置が必要であるが、府費負担による配置を求めていく必要がある。</p>					
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課					

予 算 科 目	10教育費	02小学校費	01学校管理費	03小学校施設整備事業
細 事 業 名	01 小学校施設改修事業			決算書 P.324
総 合 計 画	計 画 項 目	26 未来を拓く学校教育の充実		
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実		
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
33,630千円	165,378千円	131,748千円	20.3%	39,776千円
目 的	老朽化している学校施設が多い中、児童が安全に、安心して学校生活を送ることができるよう、市内小学校19校における施設改修工事等を行う。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	弥栄小学校校舎棟屋上防水改修工事、大宮第一小学校放送設備改修工事、久美浜小学校給食棟屋上防水改修工事等、各小学校の改修工事を行った。			
	○委託料	1,742 千円		
	・いさなご小学校下水道接続及び雑排水汚水処理施設解体工事実施設計業務	562 千円		
	・大宮第一小学校放送設備改修工事設計監理業務	367 千円		
・久美浜小学校給食棟屋上防水改修工事設計業務	430 千円			
・久美浜小学校給食棟屋上防水改修工事監理業務	297 千円			
・大宮第一小学校プールろ過機ろ材入替工事設計業務	86 千円			
○工事請負費	31,888 千円			
・弥栄小学校校舎棟屋上防水改修工事	2,134 千円			
・いさなご小学校給食室グレーチング改修工事	325 千円			
・弥栄小学校排水路改修工事	1,415 千円			
・大宮第一小学校放送設備改修工事	2,061 千円			
・久美浜小学校給食棟屋上防水改修工事	9,752 千円			
・島津小学校普通教室等空調化工事（機械設備工事前払金）	8,330 千円			
・その他工事 18件	7,871 千円			
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額	33,634千円	
		実質的な予算執行率	100.0%	
	■平成29年度への繰越事業			
	・小学校普通教室等空調化工事（網野南・島津小）	124,454 千円		
	（工事完了予定 平成29年8月）			
	・長岡小学校プール濾過装置交換等工事	7,290 千円		
	（工事完了 平成29年4月）			
主 な 財 源	市債 小学校施設整備事業債（合併特例債）			13,000千円
成 果 ・ 課 題	○施設整備を行うことにより、良好な教育環境を整えることができた。 ○学校施設の老朽化が進む中、文部科学省作成のインフラ長寿命化計画（行動計画）に則り、個々の学校施設の現状を把握し、今後の長寿命化計画の作成を検討する必要がある。			
事 業 所 管 課	教育委員会事務局／教育総務課			

予 算 科 目	10教育費	02小学校費	01学校管理費	03小学校施設整備事業
細 事 業 名	02 小学校再配置施設整備事業			決算書 P.324
総 合 計 画	計 画 項 目	26 未来を拓く学校教育の充実		
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実		
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
150千円	26,730千円	26,580千円	0.5%	0千円
目 的	学校再配置計画の見直しに伴い、平成30年4月の丹波小学校と新山小学校の再配置により、児童数が増加する新山小学校校舎の増改築工事を行うための実施設計を行う。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○手数料	150 千円		
	建築確認申請手数料			
		参考	繰越明許費を除いた最終予算額	150千円
			実質的な予算執行率	100.0%
	■平成29年度への繰越事業			
	・新山小学校増改築等工事実施設計業務	10,000 千円		
	設計業務委託料	10,000 千円		
	（業務完了 平成29年6月）			
	・新山小学校既存棟トイレ改修工事	16,580 千円		
	監理業務委託料	1,300 千円		
	意図伝達業務委託料	280 千円		
	工事請負費	15,000 千円		
	（工事完了予定 平成29年9月）			
主 な 財 源				
成 果 ・ 課 題	時間や敷地の制約がある中で、学校等との調整を密にし、学校運営に影響が出ないようにするとともに、平成30年4月のしんざん小学校開校に合わせ、平成30年2月中の完成を目指す。			
事 業 所 管 課	教育委員会事務局／教育総務課			

予算科目	10教育費	02小学校費	01学校管理費	04児童教職員健康管理事業
細事業名	01 児童教職員健康管理事業			決算書 P.324
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実		
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額
9,400千円	9,673千円	273千円	97.1%	10,942千円
目的	児童及び教職員の健康管理を行うとともに、設備の安全対策を講じることにより、児童及び教職員の健康の保持増進と小学校の教育活動における安全な環境を整える。			
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○報償費(歯みがき指導教室講師謝金・大宮南小) 28千円 ○需用費(保健衛生消耗品、医薬材料ほか) 1,118千円 ○委託料 7,351千円 <ul style="list-style-type: none"> ・児童各種検診・検査 5,760千円 <ul style="list-style-type: none"> 心臓検診委託料 1次 905人 (1・4年、経過検診者) 2次 137人 眼科検診委託料 2,729人 耳鼻科検診委託料 2,727人 尿検査委託料(春) 1次 2,728人 2次 42人 尿検査委託料(秋) 1次 2,721人 2次 26人 蟻虫検査委託料 2,729人 血液検査委託料 473人 (4年、経過観察者) 脊柱側彎症検診委託料 7人 (校医抽出者) 結核検診委託料 1人 (精密検査該当者) ・教職員健康診断委託料 1,363千円 ・教職員結核検診委託料 228千円 ○使用料及び賃借料 903千円 <ul style="list-style-type: none"> ・自動車借上料(検診時医師送迎) 77千円 ・機械借上料(AEDリース) 826千円 全校設置済(小学校19校) 			
主な財源	繰入金	ふるさと応援基金繰入金	300千円	
成果・課題	AEDの全小学校配備をはじめ、健康診断、結核検診の実施など、児童及び教職員の健康の保持増進、学校の安全な環境整備に努めた。			
事業所管課	教育委員会事務局/学校教育課			

予算科目	10教育費	02小学校費	01学校管理費	05小学校通学対策事業																														
細事業名	01 小学校スクールバス運行管理事業			決算書 P.324																														
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実																																
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実																																
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額																														
96,516千円	96,519千円	3千円	99.9%	98,759千円																														
目的	小学校に通学する遠距離及び特に必要と認められた児童の安全な通学手段を確保する。																																	
主要な事務・事業の概要	遠距離通学及び通学路の状況や冬期積雪時等、特に必要と認められた児童の通学のためにスクールバスを運行した。 <ul style="list-style-type: none"> ○バス運転委託料 6,934千円 <ul style="list-style-type: none"> ※バスの運転のみを業者委託したもの。 高龍小(佐濃南線) 1台 ○スクールバス運行管理委託料 88,874千円 <ul style="list-style-type: none"> ※バスの運転及び車両の維持管理を業者委託したもの。 <table border="1" style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>いさなご小</td> <td>3台</td> <td>橘小</td> <td>1台</td> <td>久美浜小</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>丹波小</td> <td>1台</td> <td>島津小</td> <td>1台</td> <td>高龍小</td> <td>3台</td> </tr> <tr> <td>大宮南小</td> <td>3台</td> <td>間人小</td> <td>2台</td> <td>かぶと山小</td> <td>5台</td> </tr> <tr> <td>網野北小</td> <td>1台</td> <td>宇川小</td> <td>1台</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>網野南小</td> <td>3台</td> <td>弥栄小</td> <td>3台</td> <td>計</td> <td>28台</td> </tr> </table> ○車両維持管理経費 700千円 <ul style="list-style-type: none"> ・需用費(消耗品費、修繕料) ○バス停維持管理経費 8千円 <ul style="list-style-type: none"> ・火災保険料、土地借上料(15.66㎡) 				いさなご小	3台	橘小	1台	久美浜小	1台	丹波小	1台	島津小	1台	高龍小	3台	大宮南小	3台	間人小	2台	かぶと山小	5台	網野北小	1台	宇川小	1台			網野南小	3台	弥栄小	3台	計	28台
いさなご小	3台	橘小	1台	久美浜小	1台																													
丹波小	1台	島津小	1台	高龍小	3台																													
大宮南小	3台	間人小	2台	かぶと山小	5台																													
網野北小	1台	宇川小	1台																															
網野南小	3台	弥栄小	3台	計	28台																													
主な財源	繰入金	ふるさと応援基金繰入金	20,000千円																															
	諸収入	市営バス運行収入	602千円																															
	諸収入	市営バス回数券販売収入	92千円																															
成果・課題	○スクールバスの運行により、小学校に通学する児童の安全な通学手段を確保することができた。 ○より安全なスクールバス運行を行うため、運行管理委託業者への指導の徹底及びドライバーへの安全啓発等を行う必要がある。																																	
事業所管課	教育委員会事務局/学校教育課																																	

予算科目	10教育費	02小学校費	01学校管理費	05小学校通学対策事業													
細事業名	03 小学校通学支援事業			決算書	P.324												
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実															
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実															
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額													
413千円	472千円	59千円	87.5%	472千円													
目的	遠距離通学をする児童を対象に、通学の状況に応じて遠距離通学補助金を支給し、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図る。																
主要な事務・事業の概要	○遠距離通学補助金		413千円														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>小学校名</th> <th>対象児童数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大宮南</td> <td>15人</td> <td>216千円</td> </tr> <tr> <td>宇川</td> <td>13人</td> <td>197千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>28人</td> <td>413千円</td> </tr> </tbody> </table>						小学校名	対象児童数	補助金額	大宮南	15人	216千円	宇川	13人	197千円	計	28人
小学校名	対象児童数	補助金額															
大宮南	15人	216千円															
宇川	13人	197千円															
計	28人	413千円															
主な財源																	
成果・課題	遠距離通学をする児童を対象とした遠距離通学の支援を行うことで、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図った。																
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課																

予算科目	10教育費	02小学校費	01学校管理費	06小学校施設管理事業			
細事業名	01 小学校施設管理事業			決算書	P.324		
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実					
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実					
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額			
28,742千円	29,190千円	448千円	98.4%	27,703千円			
目的	学校施設の適切な維持管理により、良好な学習環境の確保を図る。						
主要な事務・事業の概要	市内小学校19校において、学校運営上必要な施設等修繕、各種検査、保守管理委託等を行った。						
	<ul style="list-style-type: none"> ○施設等修繕 11,877 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・校舎、体育館、給食調理室、消防設備等の修繕 ○各種検査等手数料 206 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・浄化槽法定検査、産業廃棄物処理、貯水槽法定検査 ○建物火災保険料 804 千円 ○施設保守管理等委託料(17業務) 14,733 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・デマンド監視業務、消防設備等保守点検、浄化槽維持管理、PCB収集運搬電気設備保守管理、エレベーター保守点検、給食用リフト保守点検、学校警備プール給排水施設管理、給食施設消毒等業務、プール循環点検、遊具点検 ・雑木伐採、プールろ過機ろ材入替業務、貯水槽清掃点検、グリストラップ処理 ・漏水調査 ○施設用地借上料 150 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・いさなご小学校(学童農園用地ほか 751.22㎡) ○施設修繕のための原材料 250 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・グラウンド用山土、砂、修繕用木材等 ○網野北小学校芝生化事業 722 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・芝生肥料、草刈機用燃料、芝刈機修繕、補植用芝生及び芝生用土購入 ・芝生目土作業委託料 						
主な財源							
成果・課題	○施設の適切な維持管理により、学校運営を円滑に行うことができた。 ○老朽化した施設が多い中、良好な学習環境の確保に向け、今後も適切な維持管理を行う必要がある。						
事業所管課	教育委員会事務局／教育総務課						

予算科目	10教育費	02小学校費	02教育振興費	01小学校教育振興事業		
細事業名	01 小学校教育振興事業			決算書	P.326	
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実				
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実				
決算額①	最終予算額②	不用額②-①	執行率	(参考)当初予算額		
24,280千円	25,140千円	860千円	96.5%	27,332千円		
目的	副読本や学習教材を有効に活用するとともに、地域の特性を取り入れた学習指導を実践し、学力等の向上を図る。					
主要な事務・事業の概要	<p>教室内での学習活動のほか、各学校の創意工夫や独自性を活かしたさまざまな教育活動に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○報償費 1,333千円 <ul style="list-style-type: none"> ・入学記念品(418人) 304千円 ・卒業記念品(479人) 1,029千円 ○旅費 3千円 <ul style="list-style-type: none"> ・費用弁償(大地の学習講師費用弁償) ○需用費 14,127千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 13,938千円 <ul style="list-style-type: none"> 学用品、児童会活動費、理科実験費、道徳副読本、部活動費、学力検査ほか ・印刷製本費 189千円 <ul style="list-style-type: none"> 社会科副読本「わたしたちのきょうたんご」 500部(3年生) ○委託料 5,488千円 <ul style="list-style-type: none"> ・スクールバス定期外運行運転委託料、児童移送業務委託料 ○使用料及び賃借料 3,322千円 <ul style="list-style-type: none"> ・自動車借上料、有料道路通行料、駐車場使用料 ○負担金、補助及び交付金 7千円 <ul style="list-style-type: none"> ・大会参加負担金(山陰海岸ジオパーク小学生駅伝競走大会) <ul style="list-style-type: none"> 開催日:平成28年10月29日(土) 場所:但馬ドーム周辺駅伝コース 参加校:長岡小、橘小 					
主な財源						
成果・課題	<p>学校内での学習活動に加え、各学校の創意工夫や独自性を活かしたさまざまな社会活動、体験活動などの校外学習を行うことで、児童の基礎学力の向上や社会を生き抜く力を高めることができた。</p>					
事業所管課	教育委員会事務局/学校教育課					

予算科目	10教育費	02小学校費	02教育振興費	02小学校教育振興備品整備事業		
細事業名	01 小学校教育振興備品整備事業			決算書	P.326	
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実				
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実				
決算額①	最終予算額②	不用額②-①	執行率	(参考)当初予算額		
10,308千円	10,558千円	250千円	97.6%	10,358千円		
目的	授業に必要な教材備品や学校図書を計画的に整備し、児童の主体的、意欲的な学習活動を充実させ、学力の向上と豊かな心を育む。					
主要な事務・事業の概要	<p>学習環境を整えるため、必要となる教材備品を購入した。図書については、充足率の向上に努めるよう整備を行うとともに、学校図書館蔵書管理システムを使用して管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○需用費 396千円 <ul style="list-style-type: none"> ・修繕料(教材備品の修繕) ○使用料及び賃借料 103千円 <ul style="list-style-type: none"> ・図書システムソフトウェア使用料(全小学校) ○備品購入費 9,809千円 <ul style="list-style-type: none"> ・教材備品整備 4,409千円 ・学校図書整備 4,536千円 ・理科教育等設備整備(理科・算数備品) 864千円 					
主な財源	国補 繰入金	理科教育設備整備費等補助金(1/2) ふるさと応援基金繰入金				424千円 5,500千円
成果・課題	<p>○計画的に学習教材、教育備品及び学校図書の整備に努めるとともに、理科(算数)教育設備については、国の補助金を活用し計画的に整備を行うことで、学習指導要領に沿った教育環境を整えることができた。</p> <p>○新学習指導要領の導入を見据え、授業に必須の学習教材や教育設備・備品については、より一層の整備・充実が必要である。</p>					
事業所管課	教育委員会事務局/学校教育課					

予算科目	10教育費	02小学校費	02教育振興費	03小学校就学援助事業
細事業名	01 小学校就学援助事業			決算書 P.328
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
19,084千円	19,367千円	283千円	98.5%	20,753千円
目的	要保護者、準要保護者及び特別支援学級に入級する児童の保護者等の経済的負担を軽減する。			
主要な事務・事業の概要	○就学援助費 17,647千円 ・要保護認定者 26人 (H27 33人) 261千円 修学旅行費 125千円 医療費 136千円 ・準要保護認定者 259人 (H27 268人) 17,252千円 学用品費等 4,693千円 給食費 10,934千円 修学旅行費 1,369千円 医療費 256千円 ・準要保護認定者(被災児童) 2人 (H27 1人) 134千円 学用品費等 47千円 給食費 87千円 ※申請者数 314人 (H27 327人) 認定者数 287人 (H27 302人)			
	○特別支援教育就学奨励費 1,437千円 ・対象者 46人 (H27 46人) 1,437千円 学用品費等 333千円 給食費 931千円 修学旅行費 173千円			
主な財源	国補	就学援助費補助金(1/2)	130千円	
	国補	特別支援教育就学奨励費補助金(1/2)	701千円	
成果・課題	○就学に必要な学用品費、給食費、修学旅行費等を支援することで、対象児童の保護者の経済的負担を軽減することができた。 ○経済情勢の把握や制度内容の周知を徹底するとともに、世帯状況や家計状態などを考慮し、認定基準と給付基準の両面から、公正かつ適正な援助に引き続き努める必要がある。			
事業所管課	教育委員会事務局/学校教育課			

予算科目	10教育費	02小学校費	02教育振興費	04小学校教育推進事業		
細事業名	01 小学校スクールサポーター等設置事業			決算書 P.328		
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実				
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額		
48,833千円	49,006千円	173千円	99.6%	59,752千円		
目的	スクールサポーターを配置し、児童一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細やかな指導に努めるとともに、円滑な授業を実施する。					
主要な事務・事業の概要	○介護職員兼学校図書館支援加配 14人 (1日7時間45分、週5日勤務) ○介護職員 15人 (1日7時間、週5日勤務) ○心の教室相談員兼学校図書館支援加配 1人 (1日7時間、週5日勤務) 心の教室相談員：大宮第一小学校 学校図書館支援加配：高龍小学校 ○学校図書館支援加配 2人 (1日7時間) いさなご、丹波、長岡小学校に週1日勤務 島津小学校に週1日勤務(学校事務補助と兼務)					
	・臨時職員賃金 40,468千円 ・共済費(社会保険料、労災保険料、雇用保険料) 6,802千円 ・事務費(校外学習引率に伴う旅費、入場料、参加負担金) 24千円 ・委託料(児童の看護・介護委託料) 1,539千円					
配置一覧						
学校名		介護	相談員	学校名	介護	相談員
峰山小		2人		豊栄小	1人	
いさなご小		2人		間人小	2人	
新山小		2人		宇川小	1人	
大宮第一小		3人	1人	吉野小	1人	
大宮南小		2人		弥栄小	1人	
網野北小		2人		久美浜小	1人	
網野南小		2人		高龍小	1人	
島津小		1人		かぶと山小	3人	
橋小		2人		計	29人	1人
主な財源	府補	未来づくり交付金(小学校スクールサポーター等設置事業)				15,602千円
成果・課題	○必要に応じてスクールサポーターを配置することで、円滑な授業や効率的な学校運営を行うことができた。 ○各校に学校図書館支援加配を配置することで、学校図書館の充実を図ることができた。 ○児童一人ひとりの課題・特性を的確に把握するとともに、必要とする学校を的確に見極め、効果的なスクールサポーターの配置に努めていく必要がある。					
事業所管課	教育委員会事務局/学校教育課					

予算科目	10教育費	02小学校費	02教育振興費	04小学校教育推進事業			
細事業名	02 小学校教育推進活動実践事業			決算書	P.328		
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実					
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実					
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額			
2,738千円	2,920千円	182千円	93.7%	3,181千円			
目的	国府等の研究指定校を受けて教育活動に取り組むとともに、体験活動や総合的な学習活動の充実、特色ある教育等を実践し、基礎学力の向上や豊かな人間性の育成を図る。						
主要な事務・事業の概要	<p>○教育実践研究指定事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もうすぐ1年生体験入学推進事業 80千円 府指定：弥栄小 <p>○校外学習や仕事・文化体験活動、総合的な学習活動 1,306千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「KYO発見 仕事・文化体験事業」推進事業（府指定：全校） 568千円 ・総合的な学習活動推進事業（市指定：全校） 738千円 <p>○サイエンス・パートナーシップ校（網野北小学校） 84千円</p> <p>児童の科学技術、理科、算数への興味・関心や知的探究心を育成するため、京都工芸繊維大学と連携し「理科わくわく体験教室」を実施。 実施日：平成28年7月15日（金） 受講児童：6年生41人</p> <p>○予防教育（実践校：弥栄小学校） 592千円</p> <p>いじめや不登校を起こさせない教育を推進するため、子どもの特性を踏まえ科学的根拠をもった予防教育プログラム（鳴門教育大学開発）を実践。</p> <p>○教育研究事業負担金 250千円</p> <p>○修学旅行引率補助金 426千円</p>						
主な財源	府補	KYO発見仕事・文化体験活動推進事業補助金（2/3）	378千円				
	府補	もうすぐ1年生体験入学推進事業補助金（1/2）	40千円				
	府補	自殺対策事業補助金（10/10）	493千円				
成果・課題	<p>○国や府等の研究指定校を受けて教育活動に取り組むことで、児童の基礎学力の向上を図るとともに、規範意識、コミュニケーション能力、人を思いやり尊重する心など、豊かな人間性を育む教育のより一層の推進につながった。</p> <p>○児童の基礎学力の向上や豊かな人間性を育てる教育を継続して実践していくため、教職員の資質の向上と併せ、各学校の創意工夫による効果的な実践活動が必要である。</p>						
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課						

予算科目	10教育費	03中学校費	01学校管理費	02中学校管理運営事業			
細事業名	01 中学校管理運営事業			決算書	P.330		
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実					
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実					
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額			
60,672千円	62,152千円	1,480千円	97.6%	69,411千円			
目的	適正な学校運営や教育環境の充実に取り組み、中学校における円滑な教育活動を実施する。						
主要な事務・事業の概要	<p>経費の削減に取り組みつつ、学校運営に必要な維持管理等を行うとともに、教育環境を整えるための体制整備を実施した。</p> <p>○需用費 47,111千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費、燃料費（事務用品、用紙、コピー、灯油ほか） 14,976千円 ・食糧費、印刷製本費（来客用茶、ちりめん卒業証書ほか） 799千円 ・電気代 23,651千円 ・水道料 7,389千円 ・修繕費（印刷機、畳等の修繕） 296千円 <p>○役務費 2,377千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話代、郵送料 1,729千円 ・手数料（ピアノ調律、クリーニング、ごみ処理ほか） 648千円 <p>○委託料 6,338千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理科薬品廃棄処分、蜂の巣駆除委託料 649千円 ・作業員業務人材派遣委託料（3校、4人） 5,689千円 <p>○使用料及び賃借料 771千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビ受信料、ガス警報器使用料 91千円 ・印刷機借上料、コピー機借上料 680千円 <p>○備品購入費 3,031千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テント、保健器具、会議室用机、電話機ほか <p>○負担金、補助金及び交付金 1,044千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校長会、教頭会、教務主任会、事務研究会ほか各種団体負担金 						
主な財源							
成果・課題	<p>○教育環境の整備や維持管理など、生徒が安心して学ぶことのできる学校づくりに取り組み、中学校における円滑な教育活動を実施することができた。</p> <p>○より充実した教育環境の整備と学校施設の効率的な管理運営に努めていく必要がある。</p>						
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課						

予算科目	10教育費	03中学校費	01学校管理費	02中学校管理運営事業			
細事業名	02 中学校事務補助経費			決算書	P.330		
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実					
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実					
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額			
4,864千円	4,988千円	124千円	97.5%	5,131千円			
目的	学校事務職員の複数配置を要する中学校に事務職員を配置し学校事務をサポートすることにより、円滑な教育活動の実施と適正な学校運営を行う。						
主要な事務・事業の概要	複数配置校						
	峰山中学校	事務補助 (1人)	(1日6時間・週5日勤務)				
	大宮中学校	事務補助 (1人)	(1日6時間・週5日勤務)				
	再配置校						
	久美浜中学校	事務補助 (1人)	(1日7時間・週5日勤務)				
	○臨時職員賃金			4,217千円			
	○共済費 (社会保険料、労災保険料)			647千円			
主な財源							
成果・課題	○学校事務の点からサポートすることにより、円滑な教育活動の実施と適正な学校運営を行うことができた。 ○学校運営に支障をきたすと判断する場合には、今後も配置が必要であるが、府費負担による配置を求めていく必要がある。						
事業所管課	教育委員会事務局/学校教育課						

予算科目	10教育費	03中学校費	01学校管理費	03中学校施設整備事業			
細事業名	01 中学校施設改修事業			決算書	P.332		
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実					
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実					
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額			
31,875千円	31,878千円	3千円	99.9%	13,196千円			
目的	老朽化している学校施設が多い中、生徒が安全に、安心して学校生活を送ることができるよう、市内中学校6校における施設の改修工事及び工事に伴う各種業務等を行う。						
主要な事務・事業の概要	峰山中学校放送設備改修工事、大宮中学校調理室排水設備等工事、府道拡幅に伴う大宮中学校グラウンド施設移設工事等、各中学校の改修工事を行った。						
	○委託料			3,034 千円			
	・弥栄中学校消防設備改修工事設計業務			1,653 千円			
	・峰山中学校放送設備改修工事設計監理業務			390 千円			
	・大宮中学校調理室排水設備等改修工事設計監理業務			464 千円			
	・大宮中学校グラウンド施設移設工事設計業務			445 千円			
	・網野中学校渡り廊下暴風被害屋根材撤去業務			82 千円			
	○工事請負費			28,841 千円			
	・峰山中学校放送設備改修工事			2,821 千円			
	・大宮中学校調理室等改修工事			2,057 千円			
	・大宮中学校グラウンド施設移設工事 (大宮庁舎附属建物解体撤去工事含む)			19,012 千円			
	・網野中学校屋外渡り廊下屋根復旧工事			743 千円			
	・その他工事 7件			4,208 千円			
主な財源	市債	中学校施設整備事業債 (合併特別債)			5,400千円		
	市債	中学校施設整備事業債 (緊急防災・減災事業債)			1,600千円		
成果・課題	○施設整備を行うことにより、良好な教育環境を整えることができた。 ○学校施設の老朽化が進む中、文部科学省作成のインフラ長寿命化計画 (行動計画) に則り、個々の学校施設の現状を把握し、今後の長寿命化計画の作成を検討する必要がある。						
事業所管課	教育委員会事務局/教育総務課						

予算科目	10教育費	03中学校費	01学校管理費	04生徒教職員健康管理事業
細事業名	01 生徒教職員健康管理事業			決算書 P.332
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実		
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額
5,851千円	6,210千円	359千円	94.2%	7,033千円
目的	生徒及び教職員の健康管理を行うとともに、設備の安全対策を講じることにより、生徒及び教職員の健康の保持増進と中学校の教育活動における安全な環境を整える。			
主要な事務・事業の概要	<p>○需用費（保健衛生消耗品・医薬材料ほか） 839千円</p> <p>○委託料 4,471千円</p> <p>・生徒各種検診・検査 3,623千円</p> <p>心臓検診委託料 1次 532人（1年、経過検診者） 2次 107人</p> <p>眼科検診委託料 1,603人</p> <p>耳鼻科検診委託料 1,592人</p> <p>尿検査委託料（春） 1次 1,611人 2次 74人</p> <p>尿検査委託料（秋） 1次 1,593人 2次 58人</p> <p>血液検査委託料 536人（2年、経過観察者）</p> <p>脊柱側彎検診委託料 17人（校医抽出者）</p> <p>結核検診委託料 1人（精密検査該当者）</p> <p>・教職員健康診断委託料 726千円</p> <p>・教職員結核検診委託料 122千円</p> <p>○使用料及び賃借料 541千円</p> <p>・自動車借上料（検診時医師送迎） 25千円</p> <p>・機械借上料（AEDリース） 516千円</p> <p>全校設置済（中学校6校）</p>			
主な財源	繰入金	ふるさと応援基金繰入金	200千円	
成果・課題	AEDの全中学校配備をはじめ、健康診断、結核検診の実施など、生徒及び教職員の健康の保持増進、学校の安全な環境整備に努めた。			
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課			

予算科目	10教育費	03中学校費	01学校管理費	05中学校通学対策事業															
細事業名	01 中学校スクールバス運行管理事業			決算書 P.332															
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実																	
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実																	
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額															
73,769千円	73,807千円	38千円	99.9%	72,523千円															
目的	中学校に通学する遠距離及び特に必要と認められた生徒の安全な通学手段を確保する。																		
主要な事務・事業の概要	<p>遠距離通学及び通学路の状況や冬期積雪時等、特に必要と認められた生徒の通学のためにスクールバスを運行した。</p> <p>○スクールバス運行管理委託料 73,396千円</p> <p>※バスの運転及び車両の維持管理を業者委託したもの。</p> <table border="1"> <tr> <td>峰山中</td> <td>1台</td> <td rowspan="7">大宮南小スクールバスの大宮中生徒対象運行分</td> </tr> <tr> <td>大宮中</td> <td>(1台)</td> </tr> <tr> <td>網野中</td> <td>3台</td> </tr> <tr> <td>丹後中</td> <td>2台</td> </tr> <tr> <td>弥栄中</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>久美浜中</td> <td>11台</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>18台(19台)</td> </tr> </table> <p>○車両維持管理経費 310千円</p> <p>・需用費（修繕料）</p> <p>○バス停・車庫維持管理経費 63千円</p> <p>・消耗品費、燃料費、火災保険料</p>				峰山中	1台	大宮南小スクールバスの大宮中生徒対象運行分	大宮中	(1台)	網野中	3台	丹後中	2台	弥栄中	1台	久美浜中	11台	計	18台(19台)
峰山中	1台	大宮南小スクールバスの大宮中生徒対象運行分																	
大宮中	(1台)																		
網野中	3台																		
丹後中	2台																		
弥栄中	1台																		
久美浜中	11台																		
計	18台(19台)																		
主な財源	繰入金	ふるさと応援基金繰入金	10,000千円																
	諸収入	市営バス運行収入	1,136千円																
	諸収入	市営バス回数券販売収入	395千円																
成果・課題	<p>○スクールバスの運行により、中学校に通学する生徒の安全な通学手段を確保することができた。</p> <p>○より安全なスクールバス運行を行うため、運行管理委託業者への指導の徹底及びドライバーへの安全啓発等を行う必要がある。</p>																		
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課																		

予算科目	10教育費	03中学校費	01学校管理費	05中学校通学対策事業	
細事業名	03 中学校通学支援事業			決算書	P.332
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実			
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
370千円	420千円	50千円	88.0%	609千円	

目的 自転車通学や遠距離通学をする生徒を対象に、通学の状況に応じてヘルメットの購入支援とともに遠距離通学補助金を支給し、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図る。

主要な事務・事業の概要	○通学用ヘルメット購入補助金	344千円																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>中学校名</th> <th>対象生徒数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山</td> <td>103人</td> <td>129千円</td> </tr> <tr> <td>大宮</td> <td>67人</td> <td>84千円</td> </tr> <tr> <td>網野</td> <td>36人</td> <td>51千円</td> </tr> <tr> <td>丹後</td> <td>17人</td> <td>15千円</td> </tr> <tr> <td>弥栄</td> <td>46人</td> <td>57千円</td> </tr> <tr> <td>久美浜</td> <td>8人</td> <td>8千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>277人</td> <td>344千円</td> </tr> </tbody> </table>	中学校名	対象生徒数	補助金額	峰山	103人	129千円	大宮	67人	84千円	網野	36人	51千円	丹後	17人	15千円	弥栄	46人	57千円	久美浜	8人	8千円	計	277人	344千円	
	中学校名	対象生徒数	補助金額																							
峰山	103人	129千円																								
大宮	67人	84千円																								
網野	36人	51千円																								
丹後	17人	15千円																								
弥栄	46人	57千円																								
久美浜	8人	8千円																								
計	277人	344千円																								
○遠距離通学補助金	26千円																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>中学校名</th> <th>対象生徒数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大宮</td> <td>9人</td> <td>26千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>9人</td> <td>26千円</td> </tr> </tbody> </table>	中学校名	対象生徒数	補助金額	大宮	9人	26千円	計	9人	26千円																
中学校名	対象生徒数	補助金額																								
大宮	9人	26千円																								
計	9人	26千円																								
補助対象期間：H28.4～H28.10（7月） ※スクールバスによる通学支援を行っていない期間																										

主な財源

成果・課題 自転車通学や遠距離通学をする生徒を対象としたヘルメットの購入支援や遠距離通学の支援を行うことで、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図った。

事業所管課 教育委員会事務局／学校教育課

予算科目	10教育費	03中学校費	01学校管理費	06中学校施設管理事業	
細事業名	01 中学校施設管理事業			決算書	P.332
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実			
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
10,380千円	10,628千円	248千円	97.6%	11,004千円	

目的 学校施設の適切な維持管理により、良好な学習環境の確保を図る。

主要な事務・事業の概要	市内中学校6校において、学校運営上必要な施設等修繕、各種検査、保守管理委託等を行った。	
	○施設等修繕	3,508千円
	<ul style="list-style-type: none"> 校舎、体育館、給食調理室、消防設備等の修繕 	
○各種検査等手数料	428千円	
<ul style="list-style-type: none"> 浄化槽法定検査、産業廃棄物処理、貯水槽法定検査 		
○建物火災保険料	471千円	
○施設保守管理等委託料（12業務）	4,365千円	
<ul style="list-style-type: none"> デマンド監視業務、消防設備等保守点検、浄化槽維持管理、PCB収集運搬電気設備保守管理、給食用リフト保守点検、学校警備、遊具点検給食施設消毒等業務、雑木伐採、貯水槽清掃点検、グリストラップ処理 		
○施設用地借上料	1,460千円	
<ul style="list-style-type: none"> 弥栄中学校（給食棟、テニスコート用地 4,922㎡） 		
○施設修繕のための原材料	148千円	
<ul style="list-style-type: none"> グラウンド用山土、砂、修繕用木材等 		

主な財源

成果・課題 ○施設の適切な維持管理により、学校運営を円滑に行うことができた。
○老朽化した施設が多い中、良好な学習環境の確保に向け、今後も適切な維持管理を行う必要がある。

事業所管課 教育委員会事務局／教育総務課

予算科目	10教育費	03中学校費	02教育振興費	01中学校教育振興事業
細事業名	01 中学校教育振興事業			決算書 P.334
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実		
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額
36,495千円	37,515千円	1,020千円	97.2%	39,061千円
目的	副読本や学習教材を有効に活用するとともに、地域の特性を取り入れた学習指導の実践や部活動、体育大会等への参加を支援し、学力等の向上を図る。			
主要な事務・事業の概要	<p>教室内での学習活動のほか、各学校の創意工夫や独自性を活かしたさまざまな教育活動や異なった学年が参加する部活動に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○報償費 1,206千円 <ul style="list-style-type: none"> ・入学記念品(516人) 280千円 ・卒業記念品(553人) 926千円 ○需用費 11,761千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 11,465千円 <ul style="list-style-type: none"> 学用品、学力検査、指導書、道徳副読本ほか ・印刷製本費 296千円 <ul style="list-style-type: none"> 社会科副読本「京丹後市の歴史」560部 ※中学1年生に配付 ○役務費 58千円 <ul style="list-style-type: none"> ・楽器運搬手数料 ○委託料 17,541千円 <ul style="list-style-type: none"> ・スクールバス定期外運行運転委託料 ○使用料及び賃借料 1,162千円 <ul style="list-style-type: none"> ・自動車借上料 528千円 ・有料道路通行料 571千円 ・駐車場使用料 63千円 ○負担金、補助及び交付金 4,767千円 <ul style="list-style-type: none"> ・体育大会等選手派遣費補助金 			
	主な財源			
成果・課題	<p>学校内での学習活動に加え、各学校の創意工夫や独自性を活かしたさまざまな社会活動、体験活動などの校外学習を行うことで、生徒の基礎学力の向上や社会を生き抜く力を高めることができた。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局/学校教育課			

予算科目	10教育費	03中学校費	02教育振興費	02中学校教育振興備品整備事業
細事業名	01 中学校教育振興備品整備事業			決算書 P.334
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実		
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額
10,085千円	10,295千円	210千円	97.9%	10,476千円
目的	授業に必要な教材備品や学校図書を計画的に整備し、生徒の主体的、意欲的な学習活動を充実させ、学力の向上と豊かな心を育む。			
主要な事務・事業の概要	<p>学習環境を整えるため、必要となる教材備品を購入した。図書については、充足率の向上に努めるよう整備を行うとともに、学校図書館蔵書管理システムを使用して管理を行った。</p> <p>また、音楽備品については、適正な維持管理を行うとともに計画的に整備した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○需用費 701千円 <ul style="list-style-type: none"> ・修繕料(教材備品の修繕) ○役務費 320千円 <ul style="list-style-type: none"> ・楽器調整手数料 308千円 ・被服補修手数料 12千円 ○使用料及び賃借料 32千円 <ul style="list-style-type: none"> ・図書システムソフトウェア使用料(全中学校) ○備品購入費 9,032千円 <ul style="list-style-type: none"> ・教材備品整備 4,880千円 ・学校図書整備 2,076千円 ・理科教育等設備整備(理科・数学備品) 2,076千円 			
	主な財源	国補 繰入金	理科教育設備整備費等補助金(1/2) ふるさと応援基金繰入金	1,038千円 5,000千円
成果・課題	<p>○計画的に学習教材、教育備品及び学校図書の整備に努めるとともに、理科(数学)教育設備については、国の補助金を活用し計画的に整備を行うことで、学習指導要領に沿った学習環境を整えることができた。</p> <p>○新学習指導要領の導入を見据え、授業に必須の学習教材や教育設備・備品については、より一層の整備・充実が必要である。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局/学校教育課			

予算科目	10教育費	03中学校費	02教育振興費	03中学校就学援助事業
細事業名	01 中学校就学援助事業			決算書 P.334
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
25,902千円	26,132千円	230千円	99.1%	28,855千円

目的	要保護者、準要保護者及び特別支援学級に入級する生徒の保護者等の経済的負担を軽減する。			
主要な事務・事業の概要	○就学援助費		23,796千円	
	・要保護認定者	18人 (H27 21人)	360千円	
	修学旅行費		360千円	
	医療費		0千円	
	・準要保護認定者	190人 (H27 201人)	23,287千円	
	学用品費等		9,208千円	
	給食費		8,828千円	
	修学旅行費		5,152千円	
	医療費		99千円	
	・準要保護認定者(被災生徒) 1人 (H27 1人)		149千円	
	学用品費等		100千円	
	給食費		49千円	
	※申請者数	230人 (H27 236人)		
	認定者数	209人 (H27 223人)		
	○特別支援教育就学奨励費		2,106千円	
	・対象者	41人 (H27 35人)		
	学用品費等		544千円	
	給食費		921千円	
	修学旅行費		641千円	
主な財源	国補	就学援助費補助金(1/2)	180千円	
	国補	特別支援教育就学奨励費補助金(1/2)	987千円	
	府補	被災児童生徒就学等支援事業費補助金(10/10)	148千円	
成果・課題	○就学に必要な学用品費、給食費、修学旅行費等を支援することで、対象生徒の保護者の経済的負担を軽減することができた。			
	○経済情勢の把握や制度内容の周知を徹底するとともに、世帯状況や家計状態などを考慮し、認定基準と給付基準の両面から、公正かつ適正な援助に引き続き努める必要がある。			
事業所管課	教育委員会事務局/学校教育課			

予算科目	10教育費	03中学校費	02教育振興費	04中学校教育推進事業
細事業名	01 中学校スクールサポーター等設置事業			決算書 P.336
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
46,606千円	46,742千円	136千円	99.7%	54,072千円

目的	スクールサポーターを配置し、生徒一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細やかな指導に努めるとともに、円滑な授業を実施する。				
主要な事務・事業の概要	○介護職員	6人	(1日7時間、週5日勤務)		
	○講師(小中一貫)	12人	(1日7時間45分、週5日勤務)		
	○心の教室相談員兼学校図書館支援加配	6人	(1日7時間45分、週5日勤務)		
	・臨時職員賃金			40,009千円	
	・共済費(社会保険料、労災保険料、雇用保険料)			6,595千円	
	・事務費(旅費)			2千円	
	配置一覧				
	学校名	介護	小中一貫	相談員	参考計
			講師	コーディネーター	
	峰山中	1人	1人	1人	4人
	大宮中	1人	1人	1人	4人
	網野中	1人	1人	1人	4人
	丹後中		1人	1人	3人
	弥栄中	2人	1人	1人	5人
	久美浜中	1人	1人	1人	4人
	計	6人	6人	6人	24人
主な財源	府補	未来づくり交付金(中学校スクールサポーター等設置事業)			15,000千円
	成果・課題	○必要に応じてスクールサポーターを配置することで、円滑な授業や効率的な学校運営を行うことができた。			
	○各校に学校図書館支援加配を配置することで、学校図書館の充実を図ることができた。				
	○生徒一人ひとりの課題・特性を的確に把握するとともに、必要とする学校を的確に見極め、効果的なスクールサポーターの配置に努めていく必要がある。				
事業所管課	教育委員会事務局/学校教育課				

予 算 科 目	10教育費	03中学校費	02教育振興費	04中学校教育推進事業		
細 事 業 名	02 中学校教育推進活動実践事業			決算書	P.336	
総 合 計 画	計 画 項 目	26 未来を拓く学校教育の充実				
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実				
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考)当初予算額		
1,524千円	1,584千円	60千円	96.2%	1,314千円		
目 的	国府等の研究指定校を受けて教育活動に取り組むとともに、体験活動や総合的な学習活動の充実、特色ある教育等を実践し、基礎学力の向上や豊かな人間性の育成を図る。					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○教育実践研究指定事業		200千円			
	・ 法やルールに関する教育研究指定事業		200千円			
	府指定：久美浜中学校区					
	○校外学習や仕事・文化体験活動、総合的な学習活動		621千円			
	・ 「KYO発見 仕事・文化体験事業」推進事業（府指定：全校）		362千円			
	・ 総合的な学習活動推進事業（市指定：全校）		259千円			
○和装教育推進事業		339千円				
・ 着付け体験学習（全中学校）						
○教育研究事業負担金		112千円				
○修学旅行引率補助金		252千円				
主 な 財 源	府補	KYO発見仕事・文化体験活動推進事業補助金（2/3）	238千円			
	府委	法やルールに関する教育研究指定事業費委託金（10/10）	200千円			
成 果 ・ 課 題	○国や府等の研究指定校を受けて教育活動に取り組むことで、生徒の基礎学力の向上を図るとともに、規範意識、コミュニケーション能力、人を思いやり尊重する心など、豊かな人間性を育む教育のより一層の推進につながった。					
	○生徒の基礎学力の向上や豊かな人間性を育てる教育を継続して実践していくため、教職員の資質の向上と併せ、各学校の創意工夫による効果的な実践活動が必要である。					
事 業 所 管 課	教育委員会事務局／学校教育課					

予 算 科 目	10教育費	04幼稚園費	01幼稚園費	02幼稚園管理運営事業					
細 事 業 名	01 幼稚園管理運営事業			決算書	P.338				
総 合 計 画	計 画 項 目	25 子育て支援の総合的な推進							
	(旧計画項目)	28 子育て支援の総合的な推進							
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考)当初予算額					
12,524千円	13,964千円	1,440千円	89.6%	16,720千円					
目 的	適正な幼稚園運営や教育環境の充実に取り組み、就学時前教育の充実を図る。								
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	幼稚園運営に必要な維持管理を行い、必要経費を支出した。預かり保育事業の実施により、保護者の就労等による幼稚園における子育て支援のニーズに応えることができた。								
		園児数（H29.3.31現在）			預かり保育（延べ利用人数）				
		3歳児	4歳児	5歳児	計	3歳児	4歳児	5歳児	計
	峰山幼稚園	9人	15人	10人	34人	3人	3人	2人	8人
	大宮幼稚園	20人	20人	18人	58人	13人	5人	9人	27人
	網野幼稚園	12人	6人	13人	31人	5人	2人	5人	12人
	丹後幼稚園	9人	5人	4人	18人	10人	2人	5人	17人
	弥栄幼稚園	8人	4人	6人	18人	4人	3人	3人	10人
	かぶと山幼稚園	14人	9人	1人	24人	9人	7人	1人	17人
	計	72人	59人	52人	183人	44人	22人	25人	91人
	○バス運転委託料、自動車借上料（園外活動）						186千円		
○一般管理経費									
教諭研修等旅費等						759千円			
消耗品費・燃料費・光熱水費等						10,555千円			
各種負担金						175千円			
備品購入費						218千円			
通信運搬費・各種手数料等						499千円			
使用料及び賃借料						99千円			
報償物品（卒業記念品）						33千円			
主 な 財 源	使用料	幼稚園保育料					4,643千円		
	諸収入	幼稚園預かり保育料					1,177千円		
	諸収入	幼稚園費受託事業収入					478千円		
成 果 ・ 課 題	○幼児期の特性を踏まえ、児童の環境に応じた教育を行うことを基本に、人格形成に基礎を培う就学時前教育の場を提供することができた。								
	○子ども子育て支援新制度が施行される中、本市においても今後さらに、市域における就学時前教育の充実を図ることが必要である。								
事 業 所 管 課	教育委員会事務局／子ども未来課								